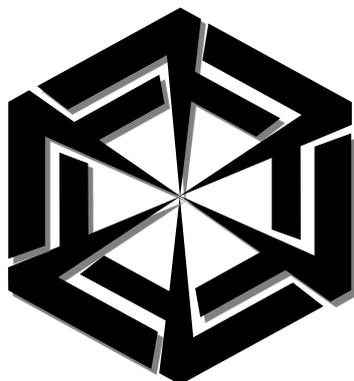


# 2022年度 須坂市の教育



須坂市教育委員会

# 目 次

I	須坂市の概要	4
II	教育委員会	
	1 教育委員	6
	2 事務局・教育機関の機構	6
	3 事務局・教育機関の事務分掌	7
	4 事務局・教育機関の市費職員数	9
III	教育財政	
	1 2022年度一般会計当初予算	10
	2 2022年度教育委員会に係る歳出項目別当初予算	11
	3 一般会計および教育費決算額の推移	13
IV	学校教育課	
	1 基本方針	14
	2 重点施策	14
	3 小・中・須坂支援学校	14
	4 高等学校	29
	5 いじめ等対策事業	29
	6 須坂市フレンドリールーム	29
	7 教育相談	29
	8 外国人講師（外国語指導助手）	30
	9 交流事業	31
	10 育英事業	31
	11 児童センター・地域児童クラブ・委託児童クラブ	32
	12 学校給食センター	33
V	子ども課	
	1 子育て支援事業	38
	2 保育園・幼稚園・認定こども園	46
	3 児童手当等の支給	49
	4 児童・青少年健全育成事業	50
VI	文化スポーツ課	
	1 沿 革	53
	2 文化芸術・交流活動の推進	55
	3 文化財保護	55
	4 図書館	61
	5 博物館	65
	6 学校体育施設開放使用状況	70
VII	生涯学習推進課	
	1 概 要	72
	2 生涯学習の推進	75
	3 公民分館活動支援	76
	4 人権教育	76
	5 地域づくり事業	76
	6 成人式	76

	7	社会教育委員関係	76
	8	広報活動	77
	9	2022年度使用状況	77
<b>Ⅷ 人権同和 教育課</b>	1	人権教育推進計画	78
	2	沿革	79
	3	具体的事業	81
	4	都市宣言	83
	5	須坂市人権行政機構図	84
<b>Ⅸ 歴代教育委員名簿</b>	1	歴代教育委員	85
	2	歴代委員長・職務代理・教育長	89

# I 須坂市の概要

## 位置・自然等

須坂市は長野県の北東部に位置し、東は上信火山帯を挟んで群馬県嬭恋村と、西と南は日本一の長さを誇る千曲川を隔てて県庁所在地の長野市と、北は小布施町・高山村と接している。

市域は、上信越高原国立公園に属する険しい山並みの東部山岳地帯と、そこから流れ出るいくつもの河川によって形成された扇状地、及び千曲川によって形成された沖積地で構成されている。

東部山岳地帯は、菅平高原とともにウインタースポーツやテニスを中心としたリゾート地である峰の原高原、日本の滝100選に選ばれている国の指定名勝「米子大瀑布（滝）」、レンゲツツジが咲き誇る破風高原等大自然の宝庫である。扇状地帯は、リンゴやブドウを中心とした豊かな果樹園が広がり、また、その中心には住環境の優れた市街地が形成されている。沖積地帯は、上信国境から流れ出る豊かな清流による稲作地帯が広がっていたが、現在は果樹園への転換が図られている。

気候は、雨が少ない典型的な内陸性気候で、年平均気温は11度だが、夏の最高平均気温は31度、冬はマイナス10度以下になることもある。このように気温の日較差が大きいことと、雨が少ないこと、さらには砂礫土壌という水はけの良さから、果樹生産に最適な地域として知られている。

## 沿革

須坂市に人が住みはじめたのは、旧石器時代からであるが市内ではこの時期に該当する遺跡は1箇所しか見つかっていない。今から約12,000年前、日本で最初に土器が作り始められた縄文時代草創期と呼ばれている時期に至ると、仁礼の須坂市指定史跡「石小屋洞穴」から日本でも最古級の土器が出土している。それから、縄文時代には山地・山麓を中心にあちこちに遺跡を残したが、今から約2,000年前、弥生時代に入ると、稲作の始まりとともに須坂園芸高校校庭遺跡など豊富な湧水と千曲川の低湿地をひかえた扇端部にあたる場所に生活の跡を残している。

古墳時代は、石を積み上げて造った積石塚とよばれている古墳が河東地域に広く造られ、その数が多いことから積石塚の中心地域と考えられている。特に積石塚古墳としては東日本で最大・最古級とされる長野県史跡「八丁鎧塚」からは、極めて類例の少ない大陸との結びつきをうかがわせる帯金具が出土している。また本郷大塚古墳からは県内でも屈指の多量の馬具や大刀などが出土している。

鎌倉・室町時代は、信濃源氏として知られる井上氏（城跡・館跡は長野県史跡）をはじめ、須田氏・高梨氏などの武士が勢力を競い合っていた。現在の中心市街地は、この頃軍事目的で整備された主要な街道の交差点に発達した街道町がその原点と考えられている。

江戸時代は、須坂藩主堀氏が現在の市域の多くを含む13ヶ村10,053石を治めていた。また、市内福島を起点として上洲大笹に至る大笹街道は、江戸に至る日数が北国街道より1日少ないため、かかる費用も少なく済むことから、主に穀物の流通ルートとして栄え、活力のある経済と文化の基礎が築かれていった。

明治時代に入ると、傾斜地という市街地の特性を利用した水車による器械製糸業が発達し、岡谷とともに世界に知られる生糸の町として栄え、大正時代にその全盛期を迎えた。その後、製糸業の衰退とともに電子工業へと転換が図られ、現在に至っている。

昭和29年4月1日に市制を施行し、翌30年に2村、同46年に1村を編入し、現在の市域となっている。

平成5年3月、上信越自動車道（「須坂長野東IC」）が開通し、工業、農業、観光業等の地域産業の重要な拠点となっている。

平成29年12月、地域未来投資促進法に基づく須坂市地域基本計画が国の同意を得る。本計画に基づき、

交通の利便性に優れた須坂長野東 IC 周辺地区に物流関連施設や観光集客施設、ものづくり産業施設からなる新複合交流拠点の開発を進め、地域産業の一層の発展を目指している。

## 人 口 等

	世 帯 数 (世帯)	人 口 (人)			対 前 回 比 (%)	一世帯当たり 人 員 (人)
		総 数	男	女		
1970年 (昭和45年)	11,144	45,782	21,985	23,797	103.01	4.10
1975年 (50年)	12,836	49,513	23,941	25,572	108.14	3.85
1980年 (55年)	14,106	52,543	25,484	27,059	106.11	3.72
1985年 (60年)	14,648	53,611	26,083	27,528	102.03	3.65
1990年 (平成2年)	15,346	53,662	26,141	27,521	100.10	3.50
1995年 (7年)	16,336	53,842	26,240	27,602	100.33	3.30
2000年 (12年)	17,323	54,207	26,420	27,787	100.68	3.13
2005年 (17年)	17,863	53,668	26,292	27,376	99.00	3.00
2010年 (22年)	18,106	52,168	25,466	26,702	97.20	2.88
2015年 (27年)	18,447	50,725	24,790	25,935	97.23	2.75
2020年 (令和2年)	18,839	49,559	24,324	25,235	97.70	2.63

資料：国勢調査

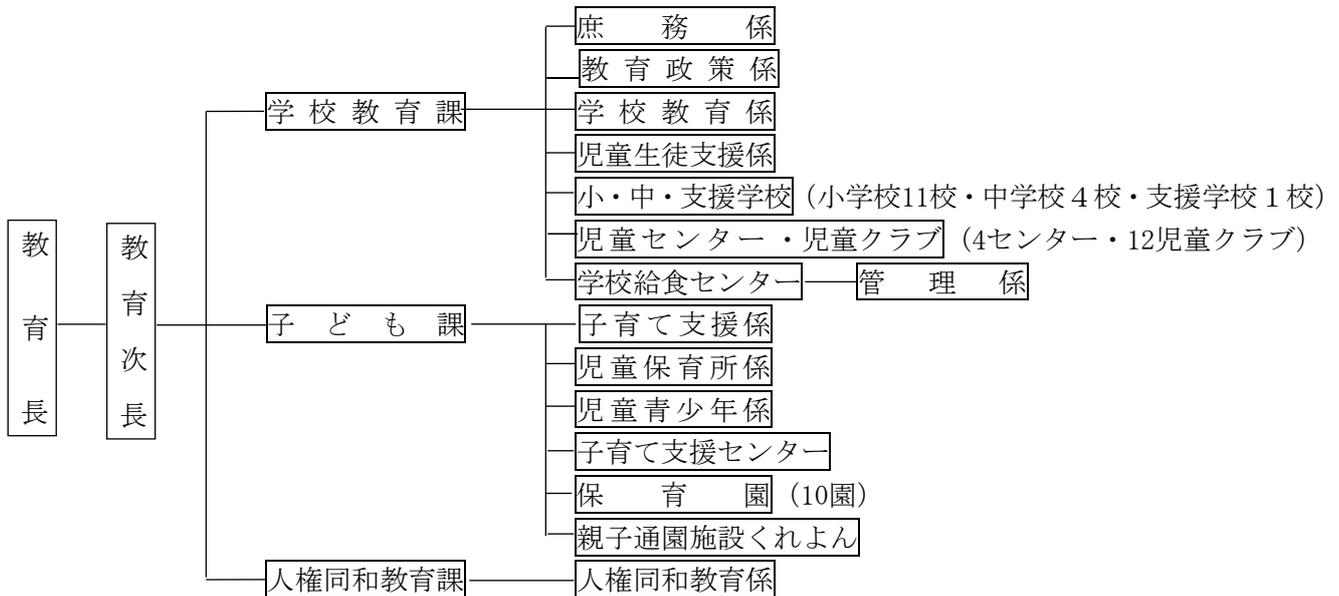
## Ⅱ 教育委員会

### 1 教育委員

(2022年10月1日現在)

役職名	氏名	就任年月日	備考
教育長	小林 雅彦	H26. 4. 1	教育長 H26. 4. 1～
教育長職務代理者	二ノ宮 邦彦	H30. 10. 1	教育長職務代理 R2. 10. 1～
委員	土屋 保男	H29. 6. 21	
委員	水上 智恵	R1. 10. 1	
委員	山下 美知子	R2. 10. 1	

### 2 事務局・教育機関の機構



### 3 事務局・教育機関の事務分掌

学校教育課	庶務係	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 公印に関すること。</li> <li>(2) 委員会の会議に関すること。</li> <li>(3) 委員会の規則等の制定、改廃に関すること。</li> <li>(4) 委員会関係職員の人事給与に関すること。</li> <li>(5) 学校その他教育機関の設置及び廃止に関すること。</li> <li>(6) 学校その他教育財産の取得及び処分の計画に関すること。</li> <li>(7) 請願及び陳情に関すること。</li> <li>(8) 栄典に関すること。</li> <li>(9) 県費教職員の人事関係内申に関すること。</li> <li>(10) 学校医、学校歯科医、学校薬剤師に関すること。</li> <li>(11) 教職員住宅に関すること。</li> <li>(12) 奨学金貸与事務に関すること。</li> <li>(13) 総合教育会議に関すること。</li> <li>(14) 文書の収受、発送に関すること。</li> <li>(15) 教育に係る調査及び基幹統計に関すること。</li> <li>(16) 委員会事務局の庶務に関すること。</li> <li>(17) 課の庶務に関すること。</li> <li>(18) その他他の課に属さない事項並びに各課の連絡調整に関すること。</li> </ul>
	学校教育係	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 学校の学級編制、教育課程、学習指導、生徒指導及び職業指導に関すること。</li> <li>(2) 通学区域に関すること。</li> <li>(3) 学校経営の指導に関すること。</li> <li>(4) 校長その他教職員の指導と助言研修に関すること。</li> <li>(5) 教科書及び教材備品に関すること。</li> <li>(6) 学齢簿の編成保管に関すること。</li> <li>(7) 学齢児童生徒の就学退学等に関すること。</li> <li>(8) 学校の整備及び保全に関すること。</li> <li>(9) 学校施設の財産の管理に関すること。</li> <li>(10) 学校施設の貸与に関すること。</li> <li>(11) 学校の行事に関すること。</li> <li>(12) 学校保健、独立行政法人日本スポーツ振興センター及び学校給食に関すること。</li> <li>(13) 学校給食センターとの連絡調整に関すること。</li> <li>(14) 就学前児童の入学に関すること。</li> <li>(15) その他学校教育に関すること。</li> </ul>
	教育政策係	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 教育に関する施策の企画及び調整に関すること。</li> <li>(2) 教職員の働き方改革に関すること。</li> <li>(3) 学校の特別活動及び課外活動に関すること。</li> </ul>

	児童生徒支援係	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 教育相談に関する事。</li> <li>(2) 就学援助に関する事。</li> <li>(3) 教育支援委員会に関する事。</li> <li>(4) 教育支援に関する事。</li> <li>(5) 中間教室に関する事。</li> <li>(6) 児童センターとの連絡調整に関する事。</li> <li>(7) 児童クラブに関する事。</li> <li>(8) 不登校対策に関する事。</li> <li>(9) 教員補助員に関する事。</li> </ul>
子ども課	子育て支援係	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 須坂市子ども・子育て会議に関する事。</li> <li>(2) 子育て支援及び支援施策の総合調整に関する事。</li> <li>(3) 次世代育成支援に関する事。</li> <li>(4) 児童福祉及び児童の相談に関する事。</li> <li>(5) すこやか相談事業に関する事。</li> <li>(6) 児童虐待防止に関する事。</li> <li>(7) 子育て支援センターとの連絡調整に関する事。</li> <li>(8) 親子通園施設との連絡調整に関する事。</li> <li>(9) 課の庶務に関する事。</li> <li>(10) その他子育て支援に関する事。</li> </ul>
	児童保育所係	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 保育所の施設整備に関する事。</li> <li>(2) 保育所への入所退所及び保育料の徴収に関する事。</li> <li>(3) 保育所の給食献立及び調理指導に関する事。</li> <li>(4) 保育所との連絡調整に関する事。</li> <li>(5) 私立保育所及び認可外保育所の育成指導に関する事。</li> <li>(6) 私立幼稚園に関する事。</li> <li>(7) 児童遊園に関する事。</li> <li>(8) 児童手当、児童扶養手当及び特別児童扶養手当に関する事。</li> <li>(9) 社会福祉法人（保育所に関するものに限る。）に関する事</li> </ul>
	児童青少年係	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 児童青少年総合対策の企画及び総合調整に関する事。</li> <li>(2) 青少年問題協議会に関する事。</li> <li>(3) 児童青少年育成関係機関及び団体との連絡調整に関する事。</li> <li>(4) 児童青少年育成センターに関する事。</li> <li>(5) 児童青少年育成市民会議に関する事。</li> <li>(6) 農業小学校に関する事。</li> <li>(7) その他児童青少年に関する事。</li> </ul>
人権同和教育課	人権同和教育係	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 人権・同和教育の総合的な企画、推進に関する事。</li> <li>(2) 同和教育関係機関、団体等との連絡調整に関する事。</li> <li>(3) 教育関係職員等の人権・同和教育研修に関する事。</li> <li>(4) 課の庶務に関する事。</li> <li>(5) その他人権・同和教育に関する事。</li> </ul>

学校給食センター	(1) 学校給食センターの維持管理に関すること。 (2) 学校給食センターの運営に関すること。 (3) 学校給食センターの施設整備に関すること。 (4) その他学校給食センターに関すること。
----------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------

#### 4 事務局・教育機関の市費職員数

(2022年4月1日現在)

区分	職員数 (人)																		合計
	教育長	教育次長	課所館園			事務職員	管理技術員	調理技術員	保育士	児童厚生員	会計年度任用職員								
			長	長	長						所長	指導主事	相談員	指導員	支援員	事務員	技術員	栄養士	
教育長	1																		1
教育次長		1																	1
学校教育課			1	8							4	7	6(1)						26
指導主事											4								4
庶務係				2									1						3
学校教育係				3								1	2						6
教育政策係				1									1						2
児童生徒支援係				2								6	2(1)						10
学校給食センター			1	1									2		2				6
学校16校					1									14					15
児童センター			1						1							1			3
子ども課			2	11					1(1)			3	4					1	22
子育て支援係				5					1(1)			2							8
児童保育所係				4									3					1	8
児童青少年係				2								1	1						4
親子通園施設くれよん									1(1)							1			2
保育園10園			10			6	51							4		62		1	134
人権同和教育課			1(1)	1								1(1)							3
人権同和教育係				1								1(1)							2
計	1	1	16	21	1	6	51	2	1	4	11	12	18	2	64	0	2	213	

( ) 内は兼務職員の数 (外書き)

### Ⅲ 教育財政

#### 1 2022年度一般会計当初予算

歳 入			歳 出		
款	予 算 額	比率 (%)	款	予 算 額	比率 (%)
1. 市 税	6,144,000	24.64	1. 議会費	210,527	0.84
2. 地方譲与税	204,500	0.82	2. 総務費	4,544,454	18.23
3. 利子割交付金	5,300	0.02	3. 民生費	7,645,253	30.67
4. 配当割交付金	23,000	0.09	4. 衛生費	1,727,464	6.93
5. 株式等譲渡所得割 交 付 金	19,600	0.08	5. 労働費	178,934	0.72
6. 法人事業税交付金	64,400	0.26	6. 農林水産業費	659,617	2.64
7. 地方消費税交付金	1,148,000	4.60	7. 商工費	1,573,060	6.31
8. ゴルフ場利用 税 交 付 金	3,900	0.02	8. 土木費	2,802,085	11.24
9. 環境性能割交付金	13,200	0.05	9. 消防費	891,494	3.58
10. 地方特例交付金	50,000	0.20	10. 教育費	2,686,059	10.77
11. 地方交付税	5,100,000	20.46	11. 災害復旧費	0	0.00
12. 交通安全対策 特 別 交 付 金	7,000	0.03	12. 公債費	1,991,053	7.99
13. 分担金及び 負 担 金	302,409	1.21	13. 予備費	20,000	0.08
14. 使用料及び 手 数 料	305,891	1.23			
15. 国庫支出金	2,971,676	11.92			
16. 県支出金	1,389,995	5.58			
17. 財産収入	31,745	0.13			
18. 寄附金	1,600,720	6.42			
19. 繰入金	1,629,704	6.54			
20. 繰越金	300,000	1.20			
21. 諸収入	2,447,660	9.82			
22. 市債	1,167,300	4.68			
合 計	24,930,000	100	合計	24,930,000	100.00

## 2 2022年度教育委員会に係る歳出項目別当初予算

(単位：千円)

項	目	予 算 額	構 成 比 (%)	財 源	
				特定財源	一般財源
教育総務費	1. 教育委員会費	3,916		0	3,916
	2. 事務局費	103,649		168	103,481
	3. 教育奨励費	246,995		115,383	131,612
	4. 教員住宅費	100		100	0
	計	354,660	7.19	115,651	239,009
小学校費	1. 学校管理費	212,051		13,613	198,438
	2. 教育振興費	121,626		64,285	57,341
	計	333,677	6.76	77,898	255,779
中学校費	1. 学校管理費	153,714		18,350	135,364
	2. 教育振興費	51,233		21,722	29,501
	計	204,947	4.15	40,072	164,865
特別支援学校費	1. 特別支援学校費	11,457		1,415	10,042
	計	11,457	0.23	1,415	10,042
幼稚園費	1. 幼稚園費	160,029		104,421	55,608
	計	160,209	3.25	104,421	55,608
社会教育費	1 公民館費	103,109		1,327	101,782
	2 児童青少年総合対策費	17,542		4,725	12,817
保健体育費	1. 保健体育総務費	56,881		34	56,847
	2. 学校給食費	559,993		326,668	233,325
	計	737,525	14.95	332,754	404,771
人権同和教育費	1. 人権同和教育総務費	13,915		0	13,915
	2. 学校人権同和教育費	2,596		0	2,596
	3. 社会人権同和教育費	2,430		0	2,430
	4. 公民館人権同和教育費	1,532		0	1,532

	計	20,473	0.42	0	20,473
児童福祉費	1. 児童福祉総務費	169,523		32,822	136,701
	2. 児童措置費	1,485,308		1,123,494	361,814
	3. 保育所費	1,131,893		159,893	972,000
	4. 子育て就労総合支援センター費	124,822		63,968	60,854
	5. 児童福祉等施設備費	191,953		91,212	100,741
	6. 親子通園訓練施設費	7,137			7,137
	計	3,110,636	63.05	1,471,389	1,639,247
合計		4,933,584	100.00	2,143,600	2,789,794

### 3 一般会計および教育費決算額の推移

年 度	決 算 額		
	一 般 会 計 (千円)	教 育 費 (千円)	対一般会計比 (%)
1994年 (平成6)	18,233,188	2,971,518	16.3
1995年 (7)	19,707,744	2,816,113	14.3
1996年 (8)	20,349,345	2,215,632	10.9
1997年 (9)	21,350,793	2,086,194	9.8
1998年 (10)	20,550,967	2,029,825	9.9
1999年 (11)	22,542,118	2,138,582	9.5
2000年 (12)	20,419,360	2,387,240	11.7
2001年 (13)	21,428,183	2,254,432	10.5
2002年 (14)	19,827,920	2,865,173	14.45
2003年 (15)	18,344,118	2,366,581	12.90
2004年 (16)	19,006,693	1,976,486	10.40
2005年 (17)	18,749,692	2,423,921	12.93
2006年 (18)	19,965,065	2,592,455	12.98
2007年 (19)	18,602,322	2,654,745	14.27
2008年 (20)	17,734,280	2,235,598	12.61
2009年 (21)	19,924,768	2,605,183	13.07
2010年 (22)	20,701,016	2,608,586	12.60
2011年 (23)	20,827,562	2,638,554	12.67
2012年 (24)	21,119,733	2,232,954	10.57
2013年 (25)	21,037,315	2,217,879	10.54
2014年 (26)	22,857,643	2,282,911	9.99
2015年 (27)	21,322,607	2,739,460	12.85
2016年 (28)	21,152,374	2,402,755	11.36
2017年 (29)	20,979,117	2,401,924	11.45
2018年 (30)	21,134,932	2,414,904	11.42
2019年 (令和元)	24,742,456	3,086,803	12.47
2020年 (2)	33,303,225	5,931,739	17.81
2021年 (3)	30,464,635	4,092,722	13.43
2022年 (4)	30,295,755	2,738,420	9.03

# IV 学校教育課

## 1 基本方針

- (1) 全教育活動を通して、豊かさとたくましさをもった児童・生徒の育成の推進
- (2) 児童・生徒の個性と創造力の育成の推進
- (3) 人間尊重の心情の育成の推進
- (4) 国際性をもって平和を愛する児童・生徒の育成の推進
- (5) 郷土に親しみ、郷土の発展に貢献する児童・生徒の育成の推進

## 2 重点施策

伝統である教育尊重の気風の上に立ち、社会的要請に応える教育内容の充実を図り、主体的・自主的に対応できる人づくりに努めるため、次の施策を推進する。

- (1) 教育環境の整備、教育機器、備品の整備充実の推進
- (2) 体験学習の重視
- (3) 人権同和教育の徹底
- (4) 特別支援教育の推進
- (5) 教職員の研修
- (6) 児童生徒指導、学校不適応に対する指導等教育相談の充実推進

## 3 小・中・須坂支援学校

- (1) 市立学校一覧表

(2022年5月1日現在)

学校名	所在地	創立年月	学校長名	教頭名	教職員数 (休職者等を含む)	
					県費	市費
須坂小学校	大字須坂780	明治6.11	竹村 信之	山口 美直	17	4
小山小学校	臥竜1-3-1	明治6.12	桂本 和弘	須山 均	21	5
森上小学校	墨坂3-1-1	昭和9.7	西澤 真一	関 和之	21	5
日滝小学校	大字日滝1648	明治6.11	上野 恵佐夫	武居 敦子	20	5
豊洲小学校	〃 小島473	明治7.2	佐藤 富美子	新井 重則	13	5
日野小学校	〃 塩川151	明治22.	新井 孝之	塩澤真千子	22	6
井上小学校	〃 幸高292	明治7.2	鬼石 喜明	宮下 佐知子	19	5
高甫小学校	〃 八町1916	明治7.3	松澤 裕子	傳田 伸和	13	4
旭ヶ丘小学校	旭ヶ丘12-2	昭和46.6	梅本 裕之	関谷 敏	16	4
仁礼小学校	大字仁礼96-2	明治6.	富沢 孝	亀岡 俊範	14	5
豊丘小学校	〃 豊丘1070	明治6.12	中沢 裕子	高橋 廣貴	12	3
計					188	51

学校名	所在地	創立年月	学校長名	教頭名	教職員数 (休職者等を含む)	
					県費	市費
常盤中学校	大字日滝61	昭和22.4	小林 俊子	北澤 佳一	25	7
相森中学校	〃 日滝2082	昭和22.4	西原 秀明	岡部 温樹	25	9
墨坂中学校	墨坂南2-19-1	昭和33.5	坪井扶司夫	齊藤 正一	36	9
東中学校	大字亀倉6-6	昭和33.5	島田 浩幸	伊藤 忠幸	22	7
計					108	32
須坂支援学校	〃 須坂780	平成23.4	竹村 信之	水倉美和子	23	7
合計					319	90

※県費の教職員数には補充職員、非常勤講師は含まない。※市費の職員数は学校司書を本務校に含む。

(2) 児童・生徒数

(2022年5月1日現在)

学校名	総数		1学年		2学年		3学年		4学年		5学年		6学年	
	学級数	児生徒数	学級数	児生徒数	学級数	児生徒数	学級数	児生徒数	学級数	児生徒数	学級数	児生徒数	学級数	児生徒数
須坂小学校	1 8	6 208	1 1	1 33	1 1	30 30	1 1	34 34	2 2	2 41	1 1	2 32	2 2	1 38
小山小学校	2 12	8 343	2 2	55 55	2 2	3 63	2 2	60 60	2 2	3 57	2 2	1 57	2 2	1 51
森上小学校	2 12	9 261	2 2	2 36	2 2	1 46	2 2	2 41	2 2	2 43	2 2	2 53	2 2	2 42
日滝小学校	2 12	13 329	2 2	1 43	2 2	1 63	2 2	3 51	2 2	4 56	2 2	3 57	2 2	2 59
豊洲小学校	2 6	5 127	1 1	14 14	1 1	2 19	1 1	22 22	1 1	2 25	1 1	25 25	1 1	1 22
日野小学校	2 12	8 299	2 2	1 50	2 2	1 52	2 2	2 54	2 2	1 47	2 2	2 52	2 2	2 44
井上小学校	2 11	10 233	2 2	2 40	2 2	1 40	2 2	38 38	2 2	1 45	1 1	3 28	2 2	3 42
高甫小学校	2 6	6 145	1 1	1 17	1 1	2 28	1 1	20 20	1 1	25 25	1 1	25 25	1 1	30 30
旭ヶ丘小学校	2 7	7 188	1 1	30 30	1 1	1 18	1 1	1 35	1 1	1 33	1 1	3 31	2 2	1 41
仁礼小学校	1 7	6 179	1 1	34 34	1 1	23 23	1 1	29 29	1 1	25 25	1 1	3 26	2 2	1 42
豊丘小学校	1 6	2 54	1 1	8 8	1 1	7 7	1 1	7 7	1 1	9 9	1 1	1 9	1 1	14 14
計	19 99	80 2,366	15 15	7 360	16 16	11 389	16 16	13 391	16 16	14 406	17 17	21 395	15 15	14 425
常盤中学校	3 11	13 338	3 3	4 105	4 4	3 115	4 4	6 118						
相森中学校	4 9	25 281	3 3	9 90	3 3	8 85	3 3	8 106						
墨坂中学校	3 15	19 471	5 5	5 164	5 5	7 143	5 5	7 164						
東中学校	2 6	7 136	2 2	4 40	2 2	2 53	2 2	1 43						
計	12 41	64 1,226	13 13	22 399	14 14	20 396	14 14	22 431						
須坂支援学校	小学部	10 21	1 4	4 4	1 3	3 3	1 5	5 5	1 5	5 5	1 2	2 2	1 1	2 2
	中学部	5 11	1 4	4 4	1 4	4 4	1 3	3 3						
	計	15 32												
合計	46 140	176 3,592												

上段は、特別支援学級（外書き）

(峰の原高原児童生徒)

		総 数		1 学年		2 学年		3 学年		4 学年		5 学年		6 学年	
		学級数	児 生徒数	学級数	児 生徒数	学級数	児 生徒数	学級数	児 生徒数	学級数	児 生徒数	学級数	児 生徒数	学級数	児 生徒数
区域外就学	菅平小学校	3	6	1	0	1	2	1	3	1	0	1	0	1	1
	菅平中学校	2	2	1	1	1	0	1	1						
	計	5	8												

## (3) 児童・生徒数の推移

(各年度 5月1日現在・区域外就学は3月31日現在)

年度 学校名	2013年度		2014年度		2015年度		2016年度		2017年度		2018年度		2019年度		2020年度		2021年度		2022年度	
	学級数	児童 生徒数	学級数	児童 生徒数	学級数	児童 生徒数	学級数	児童 生徒数	学級数	児童 生徒数	学級数	児童 生徒数	学級数	児童 生徒数	学級数	児童 生徒数	学級数	児童 生徒数	学級数	児童 生徒数
須坂小学校	2 8	4 181	2 9	4 185	2 8	6 196	2 7	5 188	2 9	5 199	2 9	8 210	2 9	7 217	2 8	6 207	2 8	5 202	1 8	6 208
小山小学校	2 15	6 429	2 14	6 422	2 14	6 402	2 14	6 393	2 14	7 388	2 13	9 370	2 12	8 345	2 12	6 337	2 12	7 347	2 12	8 343
森上小学校	2 12	5 348	2 12	8 344	2 12	7 311	2 12	10 314	2 12	10 307	3 12	10 309	3 12	11 294	3 12	11 274	2 12	10 278	2 12	9 261
日滝小学校	2 12	6 300	2 12	5 315	2 12	5 304	2 12	6 310	2 12	5 321	2 12	7 324	2 12	9 327	2 12	10 325	2 12	9 346	2 12	13 329
豊洲小学校	2 9	7 202	2 8	6 188	2 7	5 170	2 6	8 158	2 6	6 146	2 6	7 148	2 6	8 150	2 6	10 141	3 6	10 136	2 6	5 127
日野小学校	3 12	15 351	3 12	14 336	4 13	18 350	4 14	13 364	4 13	10 367	2 12	9 359	2 12	7 346	2 12	9 337	2 12	9 317	2 12	8 299
井上小学校	1 11	6 261	2 11	7 257	2 10	9 237	2 11	9 237	2 11	7 238	2 10	10 233	3 10	11 234	2 10	7 230	2 11	9 234	2 11	10 233
高甫小学校	1 7	1 180	1 6	1 174	1 6	1 180	1 6	1 184	1 6	1 178	2 6	4 165	2 6	4 163	2 6	6 153	2 6	4 155	2 6	6 145
旭ヶ丘小学校	2 8	6 205	2 9	7 200	2 9	4 194	2 8	4 192	2 9	5 208	2 8	4 208	2 9	7 209	2 9	6 219	2 8	7 195	1 7	6 179
仁礼小学校	2 12	5 270	2 12	5 254	2 12	4 251	2 11	6 235	2 11	4 234	2 9	4 222	2 8	5 204	3 8	11 196	3 7	10 179	1 7	6 179
豊丘小学校	1 6	2 91	1 6	2 82	1 6	1 82	1 6	1 73	1 6	1 71	1 6	1 73	1 6	0 66	1 6	1 61	1 6	3 55	1 6	2 54
計	20 112	63 2818	21 111	65 2757	20 109	66 2677	22 107	69 2,648	20 109	61 2,657	22 103	73 2621	23 102	77 2555	23 101	83 2480	23 100	83 2,444	19 99	80 2,366

年度 学校名	2013年度		2014年度		2015年度		2016年度		2017年度		2018年度		2019年度		2020年度		2021年度		2022年度		
	学級数	児童生徒数	学級数	児童生徒数	学級数	児童生徒数	学級数	児童生徒数	学級数	児童生徒数	学級数	児童生徒数	学級数	児童生徒数	学級数	児童生徒数	学級数	児童生徒数	学級数	児童生徒数	
常盤中学校	2 12	7 355	3 12	12 354	3 12	13 348	3 12	3 12	11 360	2 12	7 355	3 12	12 354	3 12	13 348	3 12	2 12	12 359	3 11	13 338	
相森中学校	3 14	13 419	4 13	15 395	4 12	17 374	3 12	3 14	13 452	3 14	13 419	4 13	15 395	4 12	17 374	3 12	4 9	24 288	4 9	25 281	
墨坂中学校	3 17	17 521	3 16	16 532	3 16	15 534	3 17	3 16	14 506	3 17	17 521	3 16	16 532	3 16	15 534	3 17	3 15	20 467	3 15	19 471	
東中学校	2 8	4 209	2 8	3 211	2 7	5 199	2 7	2 7	4 202	2 8	4 209	2 8	3 211	2 7	5 199	2 7	1 6	5 148	2 6	7 136	
計	10 51	41 1,504	12 49	46 1,492	12 47	50 1,455	11 48	11 49	42 1,520	10 51	41 1,504	12 49	46 1,492	12 47	50 1,455	11 48	10 42	61 1,262	12 41	64 1,226	
須坂支援学校	13	8	17	9	20	9	21	20	9	18	9	16	9	16	8	18	9	18	18	10	21
	7	4	10	4	11	4	12	11	4	14	4	15	6	13	5	11	5	11	11	5	11
	20	12	27	13	31	13	33	31	13	32	13	31	15	29	13	29	14	29	29	15	29
合計	31 165	97 4,386	30 163	104 4322	33 160	111 4,249	32 156	116 4,132	33 155	118 4,089	30 152	111 3974	31 146	113 3894	31 146	124 3791	33 142	144 3,706	46 140	176 3,592	

上段は、特別支援学級（外書き）

（峰の原高原児童生徒）

年度 学校名	2013年度		2014年度		2015年度		2016年度		2017年度		2018年度		2019年度		2020年度		2021年度		2022年度		
	学級数	児童生徒数	学級数	児童生徒数	学級数	児童生徒数	学級数	児童生徒数	学級数	学級数	児童生徒数	学級数	児童生徒数	学級数	児童生徒数	学級数	児童生徒数	学級数	学級数	児童生徒数	
区域外就学	菅平小学校	10	5	9	4	7	4	6	9	6	10	5	9	4	7	4	3	4	7	3	6
	菅平中学校	2	2	3	1	1	2	3	4	3	2	2	3	1	1	2	2	2	2	2	2
	計	12	7	12	5	8	6	9	13	9	12	7	12	5	8	6	5	6	9	5	8

## (4) 小・中学校校舎、屋体、校地保有面積一覧表

(2022年5月1日現在)

項目 学校名	学級数	校舎面積（換算前保有面積）㎡				屋体面積（保有面積）㎡				校地面積㎡				
		R	S	W	計	R	S	W	計	建物敷地	運動場	実験実習他 その他	借用地	計
須坂小学校	9	6,019	334		6,353		975		975	5,487	9,779	869	7,647	23,782
小山小学校	14	4,308	81		4,389		896		896	4,759	5,731			10,490
森上小学校	14	4,936	30		4,966		981		981	8,489	12,765			21,254
日滝小学校	14	3,641	84		3,725		968		968	8,750	10,330			19,080
豊洲小学校	8	4,299	220		4,519		974		974	6,317	9,165	995		16,477
日野小学校	14	3,535	430		3,965		865		865	4,049	9,654			13,703
井上小学校	13	3,795	220		4,015		968		968	8,034	9,194			17,228
高甫小学校	8	4,228	196		4,424		931		931	10,425	7,225	306		17,956
旭ヶ丘小学校	9	4,064	217		4,281	737			737	8,204	8,941			17,145
仁礼小学校	8	4,434	66		4,500		1,025		1,025	9,298	7,888			17,186
豊丘小学校	7	3,027	144		3,171		512		512	4,687	8,077	198		12,962
計	118	46,286	2,022		48,308	737	9,006		9,743	78,499	98,749	2,368	7,647	187,263
常盤中学校	14	5,616	81		5,697		1,141		1,141	15,287	12,022			27,309
相森中学校	13	7,037	85	451	7,573		2,280		2,280	18,594	19,134			37,728
墨坂中学校	18	7,220	536		7,756		1,872		1,872	13,227	18,196			31,423
東中学校	8	5,610	135		5,745		1,664		1,664	684	2,240	5,907		8,831
計	53	25,483	837	451	26,771		6,957		6,957	47,792	51,592	5,907		105,291
合計	177	71,769	2,859	451	75,079	737	15,963		16,700	126,291	150,341	8,275	7,647	292,554

備考：R＝鉄筋コンクリート造、S＝鉄骨造、W＝木造

## (5) 小・中学校水泳プール設置（保有）状況

(2022年5月1日現在)

項目 学校名	設置 年月日	大・小プール規格				合計 面積㎡	附帯設備	備考
		大プール水槽規格m	面積㎡	小プール水槽規格m	面積㎡			
須坂小学校	S39. 6	25×15× (1.0~1.2)	375	$(20 \times 5) + (5 \times 5) \times 0.7$	125	500	更・シ・消・浄・洗・便・上	S62プール補修 H26プールシート防水工事
小山小学校	S55. 7	25×15× (1.0~1.3)	375	$\frac{(3+4.6)}{2} \times 7 \times (0.6 \sim 0.7)$	26.6	401.6	シ・消・浄・洗・便・上	S55. 7
森上小学校	S44. 6	25×15× (1.0~1.3)	375	15×8×0.6	120	495	シ・消・浄・洗・便・上	H元プール補修 H28プールシート防水工事
日滝小学校	S56. 6	25×15× (1.0~1.3)	375	10×10×0.7	100	475	更・シ・消・浄・洗・便・上	H21プールシート防水工事
豊洲小学校	S55. 1	25×15× (1.0~1.3)	375	10×6×(0.6~0.7)	60	435	シ・消・浄・洗・便・上	H8プール補修 H27プールシート防水工事
日野小学校	S58. 6	25×15× (1.0~1.3)	375	10×10×0.7	100	475	更・シ・消・浄・洗・便・上	H14更衣室棟改築
井上小学校	S57. 6	25×15× (1.0~1.3)	375	10×10×0.7	100	475	更・シ・消・浄・洗・便・上	R元プールシート防水工事
高甫小学校	S61. 7	25×15× (1.0~1.3)	375	12.5×5×(0.7~0.75)	62.5	437.5	更・シ・消・浄・洗・便・上	S61新設改修
旭ヶ丘小学校	S46. 6	25×15× (1.0~1.3)	375	15×7×0.6	105	480	更・シ・消・浄・洗・便・上	H4既存プール補修 H25プールシート防水工事
仁礼小学校	S37. 7	25×12× (1.0~1.3)	300	10×10×0.7	100	400	更・シ・消・浄・洗・便・上	S61プール補修 S61小プール設置
豊丘小学校	S59. 7	25×15× (1.0~1.3)	375	10×10×0.7	100	475	更・シ・消・浄・洗・便・上	
計	11		4,050		999.1	5,049.1		
常盤中学校	H13. 3	25×16× (1.2~1.4)	400			400	更・シ・浄・洗・便・上	H13.3 新設改修(国庫補助事業)
相森中学校	H13. 5	25×16× (1.2~1.4)	400			400	更・シ・浄・洗・便・上	H13.5 新設改修(同上)
墨坂中学校	H18. 7	25×16× (1.2~1.4)	400			400	更・シ・浄・洗・便・上	H18.7 新設改修(同上)
東中学校	H7. 3	25×16× (1.2~1.4)	400			400	更・シ・浄・洗・便・上	H7.3 新設改修(同上)
計	4		1,600			1,600		
合計	15		5,650		999.1	6,649.1		

備考：更＝更衣室、シ＝シャワー、消＝消毒槽、浄＝浄化装置、洗＝洗眼、便＝便所、上＝上水道

## (6) 校舎等改築状況

## &lt;小学校&gt;

年度 学校名	1970	1971	1972	1973	1974	1975	1976	1977	1978	1979	1980	1981	1982	1983	1984	1985	1986	1987	1988	2001
須坂小学校			校 91,305	校 134,864	校 104,363	校 77,230														
小山小学校									校 279,404	校 195,900	フ 35,995	屋 107,830								
森上小学校													校 362,200	校 327,400	屋 163,200					
日滝小学校									校 190,480	校 209,509 屋 109,650		フ 37,180								
豊洲小学校							校 186,284	校 205,344	屋 104,800	フ 32,500	校 37,000									
日野小学校							校 95,970	校 230,360	屋 97,700					フ 44,930						校 33,495
井上小学校											校 244,750	校 315,180	屋 154,020 フ 40,050							
高甫小学校										校 179,300	校 375,750						屋大 34,500	フ 47,580		
旭ヶ丘小学校	校 43,008	校 121,306 フ 10,975	屋 33,433																	
仁礼小学校												校 314,700	校 328,400		校 33,600			フ 21,000		屋 184,050
豊丘小学校														校 317,143	校屋 175,757 フ 48,200					

※平成12年度以降は、工事請負費のみ(千円)

備考：校＝校舎、屋＝屋内運動場、武＝武道場、フ＝プール

大＝大規模改修、耐＝耐震補強、非＝非構造部材耐震化、防＝防災機能強化、シ＝シート防水

<小学校>

年度 学校名	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
須坂小学校	⊕耐 16,800				⊗耐 302,389							⊗ 防火設備改修 27,069	⊕非 23,209 ⊗シ 18,088								
小山小学校						⊗ 21,315		⊗ 大・耐 163,401		⊗シ 11,088				⊕非 21,870					⊕防 9,062		
森上小学校														⊕非 13,068	⊗防 90,353 ⊗シ 25,823				⊗大 12,650	⊗大 195,800	
日滝小学校				⊕耐 9,587				⊗シ 10,721	⊗ 大・耐 215,197					⊕非 15,206					⊕防 9,717		
豊洲小学校				⊕耐 12,264					⊗ 大・耐 234,465					⊗シ 20,628 ⊕非 13,252					⊕防 7,641	⊗設 475	⊗ 15,620
日野小学校				⊕耐 12,684		⊗ 19,876	⊗ 大・耐 169,922							⊕非 22,032				⊗シ 492	⊗シ 27,324 ⊕防 12,599		
井上小学校										⊗ 大・耐 225,225	⊕ 17,535			⊕非 12,960				⊗シ 23,925	⊕防 9,583		
高甫小学校			⊕ 169,922							⊗ 大・耐 227,314				⊕非 7,571			⊗シ 22,237				
旭ヶ丘小学校	⊗大 737,993											⊗シ 13,986	⊕非 13,889						⊕防 19,800		⊗設 453
仁礼小学校														⊕非 13,068 ⊗防 106,315		⊗シ 25,175			⊕防 9,696		
豊丘小学校					⊕耐 31,804								⊕非 10,670		⊗防 86,400						

※2000年度以降は、工事請負費のみ（千円）

備考：⊗＝校舎、⊕＝屋内運動場、⊖＝武道場、⊗＝プール

大＝大規模改修、耐＝耐震補強、非＝非構造部材耐震化、防＝防災機能強化、シ＝シート防水

< 中学校 >

年度 学校名	1982	1983	1984	1985	1986	1987	1988	1989	1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001
常盤中学校					校 189,840	校 292,160	校 477,470	屋 228,298											シ 39,312	
相森中学校								校 436,051	校 410,846	校 510,180										シ 111,405 校大 48,300
墨坂中学校					屋大 27,300						校 629,330	校 922,616	校 212,958							
東中学校			屋大 24,600										校 722,503 シ 116,699	校 552,564						

< 中学校 >

年度 学校名	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
常盤中学校								武 205,800					屋非 15,541	武非 23,371		校防 2,802	校防 76,118				シ設 458
相森中学校						屋武 526,155								屋武 非 702		校防 2,754	校防 82,728				
墨坂中学校			屋武 401,888	シ 114,035								校 9,660		屋武 非 30,899				校防 111,155			
東中学校	屋武 447,176													屋武 非 45,738				校防 73,480		シ設 489	シ 18,150

※2000年度以降は、工事請負費のみ（千円）

備考：校＝校舎、屋＝屋内運動場、武＝武道場、シ＝プール

大＝大規模改修、耐＝耐震補強、非＝非構造部材耐震化、防＝防災機能強化、シ＝シート防水

## (7) 小・中学校の沿革

### 須坂小学校

1873年11月日滝村と連合して、旧須坂藩々校立成館の地に「本立学校」を創立する。翌年旧日滝村が独自で学校を設立したため、通学区は須坂一村のみ1880年5月須坂学校と改称、1889年須坂尋常小学校を組織する。高等科は一郡一校制となり上高井郡立高等小学校を須坂尋常小学校内に設置する。1892年郡立高等小学校を廃止し、新たに須坂町外八ヵ村組合高等小学校を組織する。1895年3月これが解散したため、町立須坂尋常高等小学校を設置する。1914年常盤部および中町部と改称、1918年2月須坂実科高等女学校併置、中町部廃止、1922年旧豊丘村の一部を合併し小山部校と称する。1923年女学校を組合立とする。1934年森上部新設、1936年日滝村合併に伴い、須坂尋常高等小学校日滝部校と改称。1小学校4部校制。1941年部校廃止、国民学校と改称、1947年新学制実施により須坂町立須坂小学校となり、1954年4月市制施行により、須坂市立須坂小学校となる。1972年から1975年までの4ヵ年にわたり校舎全面改築完了、1973年11月開校100周年記念式典が挙行される。1975年度屋内運動場改築、1976年度渡り廊下新築される。

### 小山小学校

1873年小山村円光寺内に設立し、止善学校と称する。1878年現位置に新築移転、1882年小山小学校設立許可される。1903年雨天体操場新築、1922年須坂町に合併、須坂尋常高等小学校小山部校と称する。1921年11月本校舎新築、1928年校舎増築、1941年部校廃止、同年より須坂町立小山国民学校と称する。1947年新学制実施により須坂町立小山小学校と称する。1953年校舎増築、1954年4月須坂市立小山小学校となる。1973年開校100周年記念式典挙行される。1978年から1981年度までの4ヵ年にわたり校舎、屋内運動場、プール全面改築される。2010年度校庭の生芝化。

### 森上小学校

1933年起工、1934年7月開校、須坂尋常小学校森上部と称する。1941年4月須坂町立森上国民学校と改称、1947年4月新学制実施により須坂町立森上小学校と称する。1952年7月普通教室増築、1954年4月須坂市立森上小学校となる。1979年開校45周年記念式典挙行される。1982年度から1984年度までの3ヵ年にわたり校舎、屋内運動場全面改築される。1984年創立（開校）50周年・校舎総改築記念式典挙行される。1994年創立（開校）60周年記念式典挙行される。2004年創立（開校）70周年記念式典挙行される。2014年創立（開校）80周年記念式典挙行される。

### 日滝小学校

1873年須坂町と協議して設立、1874年大谷日滝寺を校舎とする（潤身学校）。1878年宮原に学校を新築、1882年日滝学校と称する。1885年高井学校と合併、1889年独立して日滝尋常小学校と称する。1901年高等科を併置し現地に改築する。1936年須坂町に合併、須坂尋常高等小学校日滝部となり、1938年6月校舎増築、1941年独立須坂町立日滝国民学校、1947年新学制実対により須坂町立日滝小学

校となり、1954年4月須坂市立日滝小学校となる。1974年開校100周年記念式典挙行される。1978、1979年度の2ヵ年にわたり大字日滝1648番地へ移転改築される。1981年にはプールが移転改築される。1990年度移転改築十周年記念式典挙行される。

### 豊洲小学校

1874年創立、1889年までは分合が多く管理者の交替も頻繁であったため、事実の明瞭さに欠くことがあったが、1889年町村制実施と共に分立し豊洲尋常小学校となり、次いで1891年4月高等科を併置、1941年4月豊洲国民学校と改称、1947年4月新学制実施により豊洲小学校と改称、1954年町村合併により須坂町立豊洲小学校と改称、同年4月市制施行につき、須坂市立豊洲小学校となる。1976年度から1979年度にわたり校舎、屋内運動場、プールが全面改築される。1989年度開校100周年記念式典が挙行される。2009年度開校120周年記念式典が挙行される。

### 日野小学校

1889年沼目学校設立、1891年4月日野小学校と改称、1892年日野尋常小学校となる。1910年現在地に校舎を新築移転、1941年日野国民学校と改称、1947年4月日野小学校と改称、1954年2月町村合併により須坂町立日野小学校、1954年4月市制施行により須坂市立日野小学校となる。1976年度から1978年度にわたり校舎、屋内運動場が全面改築され、1983年にはプールが全面改築される。2001年度エレベーターが設置される。2007年度に東校舎が全面改築され2階建てとなる。2009年開校100周年記念式典挙行される。

### 井上小学校

1874年井上村円了寺に道生学校創立、1886年井上村青木道之助氏宅に移り、別に円了寺に分教場をおく。1889年井上尋常小学校と改称、1898年高等科を併置、1904年に現在地に校舎新築移転、1941年井上国民学校と改称、1947年井上小学校となり、1955年1月に須坂市に合併により須坂市立井上小学校となる。1974年開校100周年記念式典挙行される。1980年から1982年までの3ヵ年にわたり校舎、屋内運動場、プールが全面改築される。1993年開校120周年記念式典が挙行される。

### 高甫小学校

1874年野辺広正寺に克讓学校設立。1887年八町松沢要右エ門宅に移転、1888年井上小学校八町支校となる。1889年4月高甫村成立にともない高甫尋常小学校と改称、1894年現在地に校舎新築移転、1904年校舎を増築する。1926年北校舎改築落成、1941年4月高甫国民学校と改称する。1947年4月高甫小学校と改称、1955年1月須坂市への合併により須坂市立高甫小学校となる。1974年開校100周年記念式典挙行され、1979年度、1980年度の2ヵ年にわたり普通教室棟、特別教室、管理棟全面改築される。1986年度にはプールが全面改修される。2004年度体育館が新築される。2005年度には高竜池の造成が行われる。2014年開校140周年記念式典が挙行される。

## 旭ヶ丘小学校

1971年4月豊洲小学校旭ヶ丘校舎として授業開始、同年6月校舎、プール新築開校、旭ヶ丘小学校と称する。1972年11月屋内運動場が新築される。1980年開校10周年記念式典が挙行される。1990年開校20周年記念式典が挙行され、校内施設充実事業で郷土室が完成する。2000年11月開校30周年記念式典が挙行される。2010年開校40周年記念式典挙行される。

## 仁礼小学校

1873年高頭寺、万竜寺に開設、1874年仁礼学校、成器学校と称する。1886年2校を合併、仁礼尋常小学校と称する。1895年仁礼尋常高等小学校と改称、1922年校舎を現在地に移転、1941年仁礼国民学校と改称、1947年仁礼小学校となり、1955年豊丘村と合併により、東村立南部小学校と改称、1965年屋内運動場改築、1971年須坂市と合併により、南部小学校を仁礼小学校に改め須坂市立仁礼小学校となる。1974年開校100周年記念式典挙行される。1981年度、1982年度の2ヵ年にわたり校舎全面改築される。また、1984年度には普通教室棟が増築される。1986年には、プールが全面改修される。1988年度には屋内運動場が改築される。

## 豊丘小学校

1873年小山村止善学校支校を灰野村旧地善堂に設立、1878年競進学校と改称する。1882年園里学校と改称、1885年須坂学校園里支校と称する。1889年小山学校園里支校と改称、1892年小山学校園里支校を独立して園里尋常小学校と称する。1901年高等科を併置、1929年現在地に校舎新築移転、1930年豊丘尋常高等学校に改称、1941年豊丘国民学校、1947年豊丘小学校と改称、1955年仁礼村との合併により東村立東部小学校と改称する。1971年須坂市と合併により東部小学校を豊丘小学校に改め須坂市立豊丘小学校となる。1974年開校100周年記念式典挙行される。1983年度、1984年度の2ヵ年にわたり校舎、プールが全面改築される。

## 常盤中学校

1947年4月須坂町立須坂中学校として須坂町大字須坂780番地須坂小学校内に設置、1948年3月須坂町立中学校解散廃校、1948年4月須坂中学校に須坂町立常盤中学校を設置、1952年5月現在地に新築移転、1954年4月須坂市立常盤中学校となる。10月体育館落成。1958年11月創立10周年記念式典挙行。11月給食室竣工。1962年特殊学級開設。1963年技術科・音楽室竣工。10月創立15周年記念式典挙行。1964年プール竣工。1967年11月創立20周年記念式典挙行。和風洋風庭園をつくる。1974年6月宿直廃止。1977年11月開校30周年記念式典挙行。校歌碑建立。1978年3月体育館に「切磋琢磨（上條信山書）」掲額。4月相森中学校通学区の一部（高橋、大谷、本郷の新一年生から）が変更され、常盤中学校通学区に編入される。1986年度から1989年度までの4ヵ年にわたり校舎及び屋内運動場が改築。1990年9月校舎改築記念式典挙行。1991年3月コンピューター教室落成。1997年9月創立50周年記念常盤祭。2001年プール移転改築。プール跡地にテニスコート新設。2005年カモシカ広場整備着工。2006年4月ブレザー型制服制定。2007年8月男子バレーボール部全国大会出場ベスト16。9月創

立60周年記念式典挙行。2009年度に常盤中武道場建設工事が行われる。2017年度に創立70周年記念式典挙行。

### 相森中学校

1947年4月新学制の実施により須坂中学校開校、1948年3月廃校、新たに相森中学校開校、4月より元日本測定器会社の工場を買収、これを改造し校舎として開校。1954年市立相森中学校となる。1955年、1956年豊洲中学校を統合、本校校舎改築。1976年30周年記念式典挙行される。1978年通学区の一部（高橋、大谷、本郷の新一年生から）が変更され常盤中学校通学区に編入。1981年度校舎増築、1985年度にはプール全面改修。1986年40周年記念式典挙行。

1989年4月から、墨坂中学校通学区の一部（田の神町の新一年生から）が変更され、相森中学校通学区に編入される。年度から3年度までの3ヵ年にわたり校舎が全面改築される。同8年度50周年記念式典。2001年度プール改築。及びエレベーターが設置される。2006年度60周年記念式典挙行。2008年3月、武道場を併設した屋内運動場完成。2016年度70周年記念式典挙行。

### 墨坂中学校

1958年5月、日野、高甫、井上の各中学校を統合し、同年9月開校する。1958年3月第二校舎新築、更に1958年10月第一校舎、保健室、給食室を新築する。1968年開校10周年記念式典挙行。1978年開校20周年記念式典挙行。1986年度、屋内運動場、プールが大規模改修。1988年開校30周年記念式典挙行。1989年4月から、通学区の一部（田の神町の新一年生から）が通学区変更され、相森中学校通学区に編入される。1992年度から1994年度までの3ヵ年にわたり校舎が全面改築される。1998年開校40周年記念式典挙行。2005年度に武道場を併設した屋内運動場、2006年度にプールの全面改築が行われる。2008年開校50周年記念式典挙行。2018年開校60周年記念式典挙行。

### 東中学校

1958年5月東村南部中学校、東部中学校の統合により東村立東中学校となる。1959年校舎新築、1960年屋内運動場、給食室、音楽室新築、1971年須坂市と合併により須坂市立東中学校となる。1978年開校20周年記念式典挙行される。1984年度屋内運動場が大規模改修される。1987年度にはプール全面改修される。1988年開校30周年記念式典挙行。

1994年度、1995年度の2ヵ年にわたり、校舎、プールが全面改築される。1997年度40周年記念式典。2002年度武道場を併設した屋内運動場が全面改築される。2007年創立50周年記念式典挙行。2017年創立60周年記念式典挙行。

### 須坂支援学校

2011年4月、須坂市立須坂支援学校として須坂小学校校舎の一部を活用し開校する。市町村立の特別支援学校としては、長野県内で初めてとなる。小学部に続き、2013年4月からは中学部が開校する。2020年に創立10周年記念式典挙行。

## (8) 小・中学校の通学区域

学 校 名	通 学 区 域
須坂小学校	穀町 上町 本上町 上中町 中町 春木町 太子町 新町 常盤町 横町 立町
小山小学校	坂田町 南原町 北原町 小山町 屋部町
森上小学校	東横町 南横町 北横町 馬場町 須坂ハイランド町 八幡町 境沢町
日滝小学校	相森町 高橋町 大谷町 本郷町
豊洲小学校	南小河原町 小河原町 新田町 小島町 相之島町 北相之島町 豊島町
日野小学校	八重森町 沼目町 塩川町 高梨町 五閑町 村山町 田の神町 西町
井上小学校	井上町 福島町 中島町 九反田町 幸高町 米持町 二睦町
高甫小学校	上八町 下八町 野辺町 村石町 明德町 望岳台
旭ヶ丘小学校	高畑町 旭ヶ丘町 北旭ヶ丘町 松川町 光ヶ丘ニュータウン
仁礼小学校	仁礼町 亀倉町 夏端町 米子町 塩野町
豊丘小学校	大日向町 豊丘町 豊丘上町
常盤中学校	穀町 上町 本上町 上中町 中町 新町 常盤町 立町 坂田町 南原町 北原町 小山町 高橋町 大谷町 本郷町 村石町 明德町
相森中学校	春木町 太子町 東横町 南横町 北横町 横町 馬場町 西町 須坂ハイランド町 相森町 南小河原町 小河原町 新田町 小島町 相之島町 北相之島町 豊島町 高畑町 旭ヶ丘町 北旭ヶ丘町 松川町 光ヶ丘ニュータウン 田の神町
墨坂中学校	屋部町 八幡町 境沢町 八重森町 沼目町 塩川町 高梨町 五閑町 村山町 井上町 福島町 中島町 九反田町 幸高町 米持町 二睦町 上八町 下八町 野辺町 望岳台
東中学校	仁礼町 亀倉町 夏端町 米子町 塩野町 大日向町 豊丘町 豊丘上町

※峰の原高原の児童・生徒は、上田市立菅平小中学校に通学している。

#### 4 高等学校

(2022年5月1日現在)

学 校 名	公 私 別	所 在 地	校 長 名	生 徒 数(人)	備 考
須坂東高等学校	県 立	常 盤 町	宮尾 悟良	384	全 日 制
須坂高等学校	県 立	立 町	松原 雄一	716	全 日 制
須坂創成高等学校	県 立	南 横 町	羽山 功	820	全 日 制
計 3校				1920	

#### 5 いじめ等対策事業

事 業 名	目 的
指導主事による指導	いじめ・不登校等に対する対応や調査、教員、学校等への指導、助言を行う。
不登校児童生徒支援員等の配置	不登校や学校を休みがちな児童生徒、学級に入れない児童生徒に対し、相談を行いながら、安心できる居場所づくりを行い、学校生活に意欲がもてるよう支援にあたる。
スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの活用	スクールカウンセラーは、年間スケジュールに沿って担当する小・中・支援学校を訪問し、不登校・学校不適應等の問題や悩みを抱える児童生徒・保護者とカウンセリングを行い、安定した学校生活を送るための支援にあたる。また、スクールソーシャルワーカーは、関係機関と連携し、家庭支援を行う。
心の教室相談員の配置	各中学校に心の教室相談員（図書館司書員兼務）を配置し、生徒が気軽に訪問し、その話し相手や相談相手になることにより、生徒の心の安定を図り、安定した学校生活を送れるよう支援を行う。
電話相談 (教育相談室の電話相談の活用)	いじめ等各種の悩みや訴えに対し、共感しながら助言を行ったり、相談者の了解の上で学校への対応を行ったりしながら事態の改善を図る。

#### 6 須坂市フレンドリールーム

フレンドリールームとは、登校復帰を願う児童生徒を支援することを目的としている中間教室。

指導は、適応指導員が行う。

- (1) 設 置 1992（平成4）年4月1日
- (2) 位 置 須坂市大字日滝2028（相森中学校内）

#### 7 教育相談

指導主事・巡回相談員が、小・中・支援学校を巡回して、相談・支援にあたる。

- (1) 面接相談・巡回訪問

① 内容別

年 度	2018		2019		2020		2021		2022	
	内容 件数	件数 相談延回数								
性格・生活習慣	0	0	3	4	0	0	10	10	9	10
知的発達遅滞	5	5	8	11	5	5	17	17	56	57
学 校 生 活	241	292	78	149	241	292	242	244	302	217
非 行	9	16	3	3	9	16	16	24	53	26
家 庭 関 係	72	113	8	13	72	113	72	72	136	91
環 境 福 祉	8	15	3	3	8	15	5	5	6	4
身 体 障 害	1	1	2	2	1	1	0	0	5	5
情 緒 障 害	0	0	5	8	0	0	15	15	80	55
そ の 他	1	1	69	69	1	1	19	23	54	32
計	337	443	179	262	337	443	396	410	701	497

② 校種別

年 度	2018		2019		2020		2021		2022	
	内容 件数	件数 相談延回数								
来 入 児	106	108	67	67	106	108	116	116	171	171
小 学 校	105	143	68	124	105	143	179	188	307	212
中 学 校	119	181	39	58	119	181	88	93	220	111
高 校	7	11	5	13	7	11	13	13	3	3
計	337	443	179	262	337	443	396	410	701	497

(2) 電話相談

年 度	件 数	延 回 数
H28	142	180
29	198	246
30	87	140
R 元	131	161
2	141	175
3	176	211
4	268	251

8 外国人講師（外国語指導助手）

生徒が直接外国人に接することで、言語や文化の理解や積極的なコミュニケーション態度の育成、4技能の基礎能力を高めていけるように役立てるため、各中学校に外国語指導助手を配置している。

勤務期間	氏名	性別	出身国	備考
2017年8月22日 ～ 現在	Vanessa Cortez (ヴァネッサ・コルテズ)	女	フィリピン	民間委託派遣
2021年4月1日 ～ 現在	David Williamson (デイビッド・ウィリアムソン)	男	オーストラリア	民間委託派遣

児童が直接外国人に接し、言語や文化について体験的に理解を深め、外国語の音声や基本的な表現に親しみながらコミュニケーション能力を育てていけるように役立てるため、各小学校に外国語指導助手を配置している。(2020年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の為に学校休業により、訪問回数を減らす対応をした。5～6年生に各クラス28回、3～4年生に各クラス15回、1～2年生に各クラス8回配置。)

勤務期間	氏名	性別	出身国	備考
2018年4月10日 ～ 現在	Amanda Castillo (アマンダ・カスティロ)	女	アメリカ	民間委託派遣
2020年8月24日 ～ 現在	Althea Salde (アルシア・サルド)	女	フィリピン	民間委託派遣

## 9 交流事業

### (1) 姉妹都市交流

姉妹都市・新潟県新発田市の米子小学校児童と須坂市小学校児童とが年1回交流し、両市の地理、歴史などを学習した事業は平成26年度で終了した。(姉妹都市・神奈川県三浦市との交流は、児童青少年健全育成事業として実施している。52ページ参照)

### (2) 友好都市交流(須坂市生徒友好訪中団派遣事業)

中華人民共和国吉林省四平市との友好都市締結を契機に、未来を担う中学生を対象に友好訪中団を結成し、両市の友好親善を深め、生徒の国際感覚を培い人間形成に役立たせることを目的として実施している。(平成5・6年度は、須坂市日中友好協会主催であったが、平成7年度から須坂市教育委員会主催事業とした。)平成16年度からは、隔年実施とした。(平成18年・20年・22年度は事情により中止。平成21年度は、友好都市締結15周年記念訪中団に同行。平成23年度は、須坂市民訪中団に併せて参加した。平成24年度は事情により中止。平成26年度・令和元年度は須坂市民訪中団に併せて参加した。)

## 10 育英事業

### (1) 奨学金(創設 昭和35年7月)

①貸与月額は平成14年4月1日以降の新規貸与者に対する貸与月額

(イ) 高校生(専修学校の高等課程を含む。)

公立 10,000円以内

私立 21,000円以内

(ロ) 高専生 17,000円以内

(ハ) 大学生(専修学校の4年制以上の専門課程を含む)

国公立 ┌ 自宅通学 26,000円以内

└ 自宅外通学 33,000円以内

私 立	— 自宅通学	36,000円以内
	— 自宅外通学	50,000円以内

## ②貸与状況

年 度	2018		2019		2020		2021	
	人数/金額	人数	金額	人数	金額	人数	金額	人数
高 校 生 等	0	0	1(1)	252,000	0	0		
高 専 生	0	0	0	0	0	0		
大 学 生 等	7(0)	3,876,000	3(0)	1,596,000	1(0)	600,000	4(2)	1,392,000
計	7(0)	3,876,000	4(1)	1,848,000	1(0)	600,000	4(2)	1,392,000

( ) 内は当年度採用者 (内書き)

## ③ 積立基金 (2022年3月31日現在)

須 坂 市 奨 学 金 積 立 基 金	32,252,500円
高 梨 兵 左 衛 門 積 立 基 金	682,138円
積 立 基 金 計	32,934,638円

## 11 児童センター・放課後児童クラブ・委託児童クラブ

放課後児童クラブにおいて留守家庭児童を対象に放課後児童健全育成事業を推進するとともに、児童センターでは一般児童に対しても健全な遊び場を提供し、集団的及び個別的な活動を通じて健康の増進と情操の育成を図っている。児童センターにおける子育て支援事業として、未就園児とその保護者を対象に遊びの広場を実施している。

2020年度より、南部児童センター、東部児童センター、北部児童センターと11地域児童クラブについては、指定管理者へ管理運営を委託している。

また、民設の学童保育どんぐりクラブとやすらぎ児童クラブに放課後児童健全育成事業の運営を委託している。

児童センター・地域児童クラブ・委託児童クラブの状況

(2022年4月1日現在)

児 童 ク ラ ブ 名	開 設 場 所	開設年月日	登録児童数	児童厚生員等
中央児童センター	大字須坂1212-1	1969. 10. 1	—	3
南部児童センター	墨坂南4-1-8	1982. 4. 1	112	8
東部児童センター	大字日滝91-4	1984. 4. 1	72	11
北部児童センター	大字小河原3305-1	1993. 4. 7	52	5
豊洲地域児童クラブ	大字小島401番地1	2002. 4. 1	45	4
井上地域児童クラブ	井上小学校構内	2002. 4. 1	79	6
高甫地域児童クラブ	高甫小学校教室	2002. 4. 1	47	4
仁礼地域児童クラブ	大字仁礼91-1	2003. 4. 1	64	4
豊丘地域児童クラブ	豊丘小学校教室	2003. 4. 1	12	2
日滝地域児童クラブ	日滝小学校構内	2004. 4. 1	90	7
森上地域児童クラブ	森上小学校教室	2005. 4. 1	81	6

日野地域児童クラブ 1	大字塩川158-2	2005. 4. 1	63	5
日野地域児童クラブ 2	大字塩川158-2	2005. 4. 1	58	4
学童保育どんぐりクラブ	臥竜二丁目7-12	1979. 4. 1	34	7
やすらぎ児童クラブ	大字日滝2882-1	2017. 4. 1	64	10

## 12 学校給食センター

位置、面積 須坂市大字栃倉420番地 1 8242.64㎡

建物延床面積 3051.74㎡

### 沿 革

- 1973年 2月 学校給食共同調理場設置研究委員会が発足
- 1975年11月 学校給食センター建設工事開始
- 1976年 3月 学校給食センター施設完成
- 8月 学校給食センター竣工式  
給食業務開始  
第1回学校給食センター運営委員会開催
- 1981年 4月 週2回米飯給食を実施
- 1983年 7月 調理用ボイラー1基増設
- 1986年 4月 小学校の低学年、高学年別献立を2小学校群別献立とする  
市内全小学校の給食に箸使用を実施
- 6月 市内全校の汁椀食器の改善
- 8月 市内全中学校の給食に箸使用を実施
- 1987年 8月 超高压洗浄機、焼物機、揚物機更新
- 1988年 8月 週3回米飯給食を実施
- 1989年 2月 蒸気自動煮炊釜、サイノ目切機更新
- 7月 給食配送車2台更新
- 1990年 7月 給食配送車2台更新
- 1991年 3月 蒸気自動煮炊釜、野菜さいだん機更新
- 7月 給食配送車1台更新  
ポリプロピレン製汁椀、菜皿整備
- 1992年 7月 給食配送車1台更新
- 1993年 3月 超高压洗浄機、球根皮むき機更新  
学校給食センター啓発用ビデオ作成
- 1994年 2月 かくはん機2台更新
- 1995年 2月 調理用ボイラー1基更新
- 6月 スポットエアコン、合成調理機、フードスライサー更新
- 8月 超高压食器洗浄機更新
- 1996年 5月 スポットエアコン、球根皮むき機更新、牛乳保冷庫（井上小学校）更新
- 6月 厨芥処理機更新
- 8月 業務用冷凍庫更新
- 1997年 6月 牛乳保冷庫（須坂・小山・豊洲小学校）・球根皮むき機更新  
合成調理機・フードスライサー
- 3月 蒸気回転釜・牛乳保冷庫（日野・豊丘小学校）

- 1998年 8月 全自動煮炊釜更新  
ポリプロピレン製汁椀・菜皿更新
- 1999年 5月 高速ミキサー更新  
検収室用冷蔵庫新規
- 10月 微細目スクリーン更新  
給食用お盆（エスタートレイ）更新
- 2000年 3月 増改築工事 洗浄室増築、調理室・下処理室床改修、調理室フード改修  
食器洗浄システム（浸漬槽・自動供給装置・食器洗浄機）新規  
缶洗浄システム（前処理機・食缶洗浄機）新規  
器具類洗浄機更新、自動揚物機・自動焼物機更新  
下処理室ドライ仕様（シンク・調理台）更新、カートイン蒸し器更新  
洗浄室用ローラーコンベア新規
- 2000年 4月 献立を3コースから2コースに変更する。  
給食費を市の一般会計に組み入れ、公金化を図る。
- 2001年 5月 防犯監視用センサー設置
- 8月 屋根改修工事  
全自動煮炊釜更新
- 2002年 1月 ボイラー加熱管交換工事
- 8月 公共下水道接続工事
- 2003年 8月 食器消毒保管庫更新  
蒸気回転釜更新
- 10月 給食用コンテナ更新
- 2004年 7月 食器（ボール）更新（ポリプロピレン製からCOP製へ）
- 11月 給食用コンテナ更新
- 2005年 3月 L型運搬車新規
- 2005年 8月 超高压洗浄機用高压水切り装置新規
- 10月 給食の主食にソフト麺導入（10月～3月まで月1回）
- 2006年 8月 食器(COP製角ランチ皿）更新  
器具消毒保管機・蒸気回転釜・フードスライサー更新
- 10月 給食用コンテナ更新
- 2007年 7月 連絡車更新
- 8月 真空冷却機新規  
多管式貫流ボイラー（1号）更新
- 12月 ボイラー加熱管交換工事
- 2008年 1月 球根皮剥機・野菜調理機更新
- 8月 給食用お盆（FRPトレイ）更新
- 2009年 1月 給食用コンテナ更新
- 7月 自動揚物機
- 2010年 8月 ストレージタンク熱交換器交換工事
- 8月 ボイラー室アスベスト除去工事

8月	ドライ仕様移動台1台新規
9月	高圧洗浄機1台更新
2011年3月	給食用コンテナ1台更新
3月	洗濯機1台更新
8月	給食用コンテナ4台更新
8月	多管式貫流ボイラー（2号）更新
2012年4月	配送業務委託（H24年4月～H25年3月）
7月	測量調査、地質調査
8月	ボイラー（1号）排ガス用エコマイザー修繕
2013年1月	さいの目切機1台更新
3月	給食用コンテナ1台、移動式シンク2台、パンラック2台、ドライ式移動台1台更新
4月	調理業務委託（H25年4月～H30年3月 5年間の長期継続契約）
4月	配送業務委託（H25年4月～H28年3月 3年間の長期継続契約）
2013年5月	2階調理員用トイレ修繕
5月	サラダ用冷蔵庫購入
8月	1階調理員用トイレ修繕
8月	スラットコンベアー修繕
10月	高速度ミキサー1台更新
11月	給食用コンテナ1台、移動式シンク4台、パンラック2台、ドライ式作業台6台更新、高速度ミキサー1台更新
2014年1月	洗濯機1台更新
3月	移動式スラーサーシンク2台、缶切機1台更新
3月	デジタル式自動台秤1台更新
4月	会議用長机14台、イス45台、イス用台車2台
6月	中型自動台秤1台更新、洗濯機1台更新
9月	下処理室消毒保管庫1台更新・洗浄室消毒保管庫1台新規
10月	ボイラー室給水管改修
12月	除雪機1台新規
2016年3月	ドライ式作業台1台、調理場用棚1台、給食用コンテナ1台新規
4月	配送業務委託（H28年4月～H30年3月 2年間の長期継続契約）
4月	サラダ用冷蔵庫の設置（各学校）
6月	グリストラップ改修
7月	冷蔵ショーケース1台新規
	調理場手洗器増設2台、屋外配管修繕
8月	調理場用棚1台新規 コンテナ2台更新
	多管式貫流ボイラー（1号）更新
	食器洗浄機制御部入れ替え
8月	～2017年3月（新）給食センターPFI導入可能性調査
	～2017年3月 建設地 地質調査、測量調査、補償調査
11月	ボイラー貯湯槽減圧弁修理

- 12月 ボイラー脱気タンク交換修繕
- 2017年 3月 フードスライサー1台更新、給食用コンテナ1台新規
- 4月 ～2018年9月 (新)給食センター整備運営事業に係るPFIアドバイザー業務委託
- 7月 回転釜蒸気管更新
- 8月 減圧弁、安全弁取替等修繕
- 9月 洗濯機1台更新
- 10月 「(新)学校給食センター整備運営事業」実施方針の公表
- 11月 受変電設備引込修繕
- 2018年 1月 「(新)学校給食センター整備運営事業」入札公告、入札説明書等の公表
- 2月 オートミックス修理
- 2月 給食用コンテナ1台更新
- 4月 調理業務委託 (H30年4月～H32年7月 長期継続契約)
- 4月 配送業務委託 (H30年4月～H32年7月 長期継続契約)
- 5月 検収室シャッターの取り換え
- 5月 ～10月 (新)学校給食センター造成等工事
- 6月 保存食用冷蔵庫の更新
- 7月 「(新)学校給食センター整備運営事業」業者決定及び公表
- 9月 「(新)学校給食センター整備運営事業」特別目的会社との契約を締結  
(2018年9月～2035年7月末)
- 10月 ～2019年3月(新)学校給食センター建設に伴う市道内の配水管・下水道布設工事  
～2021年3月 (新)学校給食センター整備運営事業に係るPFIモニタリング業務委託
- 11月 給食用コンテナ1台更新
- 12月 アレルギー講演会開催(昭和大学准教授 今井孝成氏)
- 2019年 1月 ジェットヒーターの購入
- 3月 須坂市食物アレルギー対応の基本方針・要綱・マニュアルを策定
- 2019年 6月 ～R2年2月 国モデル事業「つながる食育推進事業」  
7/5 食育講演会開催(東北大学加齢医学研究所長 川島隆太氏)
- 6月 (新)学校給食センター建設 起工式
- 7月 ～2020年3月 学校コンテナ室の改修(10校)
- 9月 アレルギー講演会開催(昭和大学教授 今井孝成氏)
- 11月 学校現場食物アレルギー対応マニュアル研究会開催
- 12月 ～2020年11月 (新)学校給食センター隣接水路改修工事
- 2020年 2月 ～5月 (新)学校給食センター隣接市道舗装工事
- 7月 (新)学校給食センター 市道道下居村下河原線他舗装工事
- 8月 (新)学校給食センター 栃倉地区交通安全施設設置他工事
- 9月 (新)学校給食センター 境界ポイント復旧工事  
(新)学校給食センター ピット湧水排水設備工事
- 10月 (新)学校給食センター 隣接道路舗装工事

- 11月 衛生管理研究会開催（㈱オフィス田中 田中延子氏）
- 12月 （新）学校給食センター竣工・引き渡し  
位置・面積 須坂市大字栃倉420番地1 8242.64m<sup>2</sup>  
建物延床面積 3051.74m<sup>2</sup>  
～3月 開業準備
- 2021年1月 （新）学校給食センター しゅん工式
- 2月 食物アレルギー講演会開催（長野県立こども病院 小池由美氏）
- 4月 （新）須坂市学校給食センター稼働  
「(新)学校給食センター整備運営事業」特別目的会社による調理業務開始  
(業務委託期間：2021年4月7日～2035年7月31日)  
食物アレルギー対応食の提供開始
- 11月 (旧)須坂市学校給食センター解体工事完了

### 延べ給食数

(単位：食)

内 容	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
小学校	591,692	595,528	591,297	540,842	517,148	554,254	537,829
中学校	315,733	292,883	274,480	252,846	269,049	282,624	277,811
試 食	421	371	384	217	38	41	39
センター	8,367	8,347	8,411	8,707	8,902	9,718	9,926
計	916,213	897,129	874,554	802,612	795,137	846,637	825,595

(2022年度年間給食日数209日、配送車所有6台・稼働台数6台)

### 1食当たり給食単価

(単位：円)

内容 \ 年度	1980	1981	1982・ 1983	1984～ 1988	1989・ 1990	1991～ 1993	1994～ 1997	1998～ 2008
小 学 校	170	182	189	195	202	215	230	240
中 学 校	205	220	228	235	244	261	275	285

内容 \ 年度	2009～ 2013	2014～ 2018	2019～
小 学 校	260	272	286
中 学 校	305	318	334

### 会 議

- 運営委員会 2回
- 献立作成委員会 12回

# V 子ども課

## 1 子育て支援事業

### (1) すこやか相談事業

子どものすこやかな発育、発達を支援し、スムーズな就学につなげるために「すこやか相談事業」を2006年度から実施している。対人関係や集団適応での能力の差が出てくる5歳児に着目し、保護者及び担任への事前調査をもとに、幼稚園・保育園・認定こども園での様子を巡回観察し、発達障がいと疑われる児童及び保護者について適切な支援をしていく。

### ア 5歳児巡回

#### ① 対象者

須坂市に住民票がある2017年4月2日～2018年4月1日生まれの幼児（355人）  
 私立幼稚園（1園・6人）、私立保育園（4園・61人）、公立保育園（10園・190人）  
 認定こども園（3園・88人）、管外幼稚園・保育園・こども園（7園・10人）

#### ② スタッフ

すこやか相談コーディネータ・家庭児童相談員・作業療法士・保健師・すこやか相談員

#### ③ 実施内容

アンケート及び発達相談への対応状況（対象児355人）

	アンケート提出	発達相談記入数	対応方法				計
			面談	電話	文書	その他 (園フォロー)	
保護者	354人 (99.7%)	74人 (20.9%)	0	27	0	34	61人
保育士・ 教諭	355人 (100.0%)	112人 (31.5%)	巡回時対応 112人				

相談内容（複数回答あり）

	項目	件数 (件)	比率(%)	備考(主な相談内容)
保護者	1 身体・健康	12	12.1	発育の遅れ、持病
	2 対人・行動	31	31.3	社会性、友だち関係、遊び
	3 言語・認知	14	14.1	言語表出、言語理解、手先の巧緻
	4 食事	9	9.1	好き嫌い、偏食、肥満
	5 しつけ	10	10.1	言葉遣い、ほめ方・叱り方
	6 その他	23	23.2	癖など
	計	99	99.9	
保育士 教諭	1 身体・健康	14	4.4	発育の遅れ、持病
	2 対人・行動	185	58.0	社会性、友だち関係、遊び
	3 言語・認知	84	26.3	言語表出、言語理解、手先の巧緻

	項目	件数 (件)	比率(%)	備考(主な相談内容)
	4 食事	2	0.6	好き嫌い、偏食、肥満
	5 家庭環境	25	7.8	家庭環境、養育面の心配
	6 その他	9	2.8	癖など
	計	319	99.9	

- ① 巡回観察対象児童 179人 (50.4%)  
 ② 巡回状況 56回 (20園)  
 ③ 個別相談状況 27人  
 ④ 当該年度5歳児から翌年度6歳児へ要継続支援とした児童 84人 (23.6%)

主な該当項目	人数(人)	割合(%)
1 理解・認知・操作	13	15.5
2 対人・行動	36	42.9
3 言語	25	29.8
4 障がい	10	11.9
5 家庭環境	0	0
計	84	100.0

#### イ 6歳児巡回

- ① 対象児童 55人  
 ・前年度5歳児すこやか相談事業等で継続支援・観察が必要と判断した6歳児 43人  
 ・6歳児巡回を実施する中で支援観察が必要と判断した児童 12人  
 ② 巡回状況 54回 (18園)  
 ③ 個別相談状況  
 ・市就学指導教育相談 12人  
 特別支援学校3人、特別支援学級4人、通級指導教室5人  
 小学校入学後、個別配慮・支援、継続観察の必要な個人票を作成し、学校との連携を図ることが必要とした児童 45人(81.8%)

主な該当項目	人数(人)	割合(%)
1 理解・認知・操作	8	17.8
2 対人・行動	27	60.0
3 言語	2	4.4
4 障がい・病気	7	15.6
5 家庭環境	1	2.2
計	45	100.0

#### ウ 小学校巡回

小学校入学後、個別配慮・支援、継続観察の必要な児童の個人票を作成し、学校との連携を図った。

- ② 巡回観察対象児童 46人
- ② 巡回観察状況 13回（市内小学校11校、須坂支援学校、市外小学校1校）

5歳児すこやか相談後、継続した支援を必要とする児童と保護者のための療育事業として、すこやか教室を実施した。

組名	対象児童	開催期日・回数	対象児童数 (人)	延参加人数 (人)
ほし組	7歳児（小1）	6月～8月 3回	3	親9 子9
にこにこ組	6歳児（年長）	5月～2月 9回	6	親22 子22
いるか組	5歳児（年中）	11月～2月 4回	6	親18 子24

エ 発達障がいに関する講演会

- ① 開催日 2022年6月24日（金） 17時30分～19時30分
- ② 会場 須坂市文化会館 メセナホール 大ホール
- ③ 講師 久保山 茂樹 氏 独立行政法人 国立特別支援教育総合研究所  
インクルーシブ教育システム推進センター  
上席総括研究員（兼）センター長
- ③ 内容 「共生社会の担い手を育む」を保育・教育の合言葉に  
～ 一人一人が尊重されるインクルーシブな保育・教育 ～
- ④ 参加者 180人（須坂市内の保育士、幼稚園教諭、小中学校教諭、市関係者等）

(2) 須坂市虐待被害者等支援対策連絡協議会

ア 代表者会議 コロナ禍の影響により書面開催

イ 実務担当者会議

開催日 6月30日、10月31日、2月28日

検討件数 延189件

(3) 家庭児童相談

家庭における人間関係の健全化及び児童養育の適正化等、家庭児童福祉の向上を図るため、児童相談員による専門的な相談業務を行う。

相談	養護相談		保健相談	障害相談						非行相談	育成相談				その他	合計
	児童虐待	その他		肢体不自由	視聴覚	言語発達	重症心身	知的障害	発達障害等		性格行動	不登校	適正相談	育児・しつけ		
継続	66	38	0	1	0	0	0	5	14	0	16	0	0	14	1	155
新規	38	101	11	0	1	1	1	8	23	0	48	45	4	48	1	330
合計	104	139	11	1	1	1	1	13	37	0	64	45	4	62	2	485

(4) 養育支援訪問事業

養育支援が特に必要な家庭に対し、訪問介護員（ヘルパー等）を派遣し、安定した養育が可能となるよう支援した。

ア 訪問支援家庭数 2家庭

イ 育児・家事支援 20回

(5) 子育て短期支援事業（ショートステイ事業）

保護者が疾病、疲労、その他の身体上若しくは精神上又は環境上の理由により、家庭において児童を養育することが一時的に困難となった場合に、児童福祉施設において養育を行った。

ア 利用児童 9人

イ 利用日数 38日

(6) 児童虐待防止対策事業

公立保育園と希望のあった私立園の年長児童とその保護者及び全教職員を対象に研修プログラムを導入し、児童虐待防止強化を図る。

ア CAP教職員ワークショップ 3回開催

4月14日 40人 4月26日 39人 4月27日 40人

イ CAP保護者（おとな）ワークショップ 3回開催

5月11日 47人 5月16日 42人 5月19日 47人

ウ CAP子どもワークショップ

5月～6月 各園（公立保育園10園、私立保育園6園）で開催

331人受講

(7) ブックスタート事業

誕生の記念として、3か月児健診時に6冊の中から1冊の絵本をプレゼントし、絵本を通して親子のふれあいを深める機会を提供する。 絵本配布対象者 326人

(8) 須坂市子ども・子育て会議

新型コロナウイルス感染症の流行に伴い会議は開催せず、必要な事項については書面で連絡。

(9) 須坂市子育て就労総合支援センター

地域全体で子育てを支援する基盤の形成を図るとともに、子育て世代への育児及び就労の支援、並びに新たな市民の交流と働き方の場を提供し、にぎわいを創出するため、須坂駅前ビルシルキー1階に須坂市子育て就労総合支援センターを設置し、2022年7月1日から供用を開始し、指定管理者により管理運営を行う。施設は、「須坂市子育て支援センター及び「子育て就労支援・市民交流施設」をもって構成する。施設の愛称を須坂市の製糸業で栄えた街並みでみられる「ぼたもち石」から須坂で暮らす人々を支えるサードプレイスとなることを企図し「bota（ぼーた）」とした。

(人)

月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
来館者	9,421	7,486	6,899	8,739	7,831	8,457	7,243	8,025	9,567

(10) 子育て支援センター

子育て家庭に対する育児不安等についての指導、子育てサークル等への支援などを通して、地域の子育て家庭に対する育児支援を行うと共に、地域全体で子育てを支援する基盤の形成を図る。

ア 施設の概要

沿革

開設 2001年4月 須坂市立高甫保育園内に「須坂市子育て支援センター」として事業を開設民生部福祉課所管

移設 2005年4月 中央児童センター内に併設となる

2022年7月 須坂駅前ビルシルキー1階 須坂市子育て就労総合支援センター内に併設

イ 事業実施状況

区分	開所 日数 (日)	親 子			子育て広場の支援				場 所
		親	子	計	回数 (回)	親	子	計	
4月	25	213	256	469	0	0	0	0	
5月	23	282	314	596	2	8	8	16	仁礼コミュニティセンター・井上地域公民館
6月	※開館準備								
7月	25	517	603	1120	0	0	0	0	※井上地域公民館コロナで中止
8月	26	194	250	444	1	3	3	6	井上地域公民館 ※仁礼コミュニティセンターコロナで中止
9月	24	242	287	529	0	0	0	0	※仁礼コミュニティセンターコロナで中止

10月	25	557	670	1227	1	6	6	12	井上地域公民館
11月	24	444	542	986	1	2	1	3	仁礼コミュニティセンター
12月	24	503	653	1156	2	10	9	19	仁礼コミュニティセンター・井上地域公民館
1月	23	496	623	1119	1	2	1	3	仁礼コミュニティセンター
2月	22	523	636	1159	1	6	7	13	井上地域公民館
3月	26	526	653	1179	2	8	11	19	仁礼コミュニティセンター・井上地域公民館
計	267	4497	5487	9984	11	45	46	91	

※コロナウイルス感染症拡大防止のため、2022年4月1日～5月28日は10:00～12:00のみの開館、7月23日～7月30日施設利用中止、8月1日～10月1日10:00～12:00のみの開館（8月12日～8月16日施設利用中止）とした。

#### ウ 子育てミニ講座の開催

期 日	内 容	参加数（人）
8月25日	赤ちゃんマッサージ	親：5 子：5
9月1日	親子交通安全教室	親：10 子：10
9月8日	N P I C親子運動あそび	親：9 子：9
9月29日	親子ビクス	親：9 子：12
10月6日	臥竜山散策	※雨のため中止
10月13日	歯の健康教室	親：17 子：20
10月27日	べびいケア	親：10 子：10
11月24日	たんぽぽの会	親：14 子：16
12月19日	クリスマスミニコンサート	親：12 子：19
1月19日	赤ちゃんマッサージ	親：11 子：11
2月8日	ブルーヴェコンサート	親：15 子：17
2月13日	親子ビクス	親：15 子：17

#### エ すくすく育児ランド

親であることの自覚と責任を持ち育児に必要な知識を学ぶため、すくすく育児ランドを開催した。

区分	期 日	内 容	参加数（人）
後期	9月6日	講話「絵本を通しての親子の関わりについて」	8
	9月13日	子どもの栄養と食育	7
	9月20日	講話「ヨガで心をほぐしながら聞く子どもへの接し方」	9
	9月27日	親の健康を見直そう	8

※7月開所のため、前期分開催なし。

#### オ 父親講座 すくすくパパ

夫婦が共に子育てをする土壌の醸成と、父親の育児力の向上を目指しすくすくパパを開催した。

期 日	内 容	参加数 (人)
10月15日	百々川緑地で遊ぼう	父：7 母：4 子：10
1月29日	おもちゃ作りをしよう(輪投げ)	父：5 母：3 子：7

#### カ 中高生と赤ちゃんのふれあい事業

次代の親となる中学生・高校生が赤ちゃんと接し、子育て中の母親の話を聞くことで、命の大切さや、妊娠や出産について正しい知識をもち、結婚や親となることについて考えるきっかけをつくとともに、母親が子育てを振り返り我が子の将来に期待をもつため、ふれあい事業を計画したが、コロナ禍の影響により中止した。

#### キ すくすくホーム

親も祖父母もともに楽しく子育て・孫育てができるよう、育児に対する思いを話し、分担して子育てをするコツを学ぶため開催した。

- ① 開催日 11月15日
- ② 内容 グループでの話し合い
- ③ 参加者 祖父母世代 5人 親世代 4人

#### ク ほっとタイム

同じ年齢の子を育てる親同士が、その時々々の悩みを話しあったり情報交換をすることで今後の育児に役立てたり、仲間づくりのきっかけを作るために開催した。

月 日	参加人数(人)
8月23日	親：4人
8月30日	親：3人
1月17日	親：8人
1月24日	親：6人

#### ケ シルバー人材センター会員との交流

農作業体験を通して地域の方とふれあう中で、豊富な経験や知識を参考とし、子育てがより充実したものとなるよう交流を行った。

回	月 日	内 容	参加人数 (人)		
			親	子	シルバー
1	8月2日	じゃがいもの収穫	12	15	13
2	11月10日	大根とネギの収穫	15	15	19

#### (10) ファミリー・サポート・センター事業

子育ての援助を行いたい者と、援助を受けたい者が会員として登録して実施する、子育ての相互援助活動を支援した。

ア 入会説明・登録 随時(子育て支援センターにて受付)

#### イ 講習会

内 容	期 日	参加数 (人)
乳幼児救急法(消防署救急救命士)	6 月	2
	12 月	コロナ禍の影響により中止
乳幼児の栄養と食事 (子ども課管理栄養士)	12 月	4
乳幼児の成長とかかわり方(子育て支援センター保健師)	12 月	7
乳幼児の応急手当(消防署救急救命士)	12 月	コロナ禍の影響により中止
保育の心と遊び(子育て支援センター所長)	12 月	4
KYT(危険予知トレーニング)	12 月	10

ウ ファミリー・サポート・センター運営協議会 2023年2月14日 開催

エ レベルアップ講習会、提供会員交流会 講習会のKYTを、レベルアップ講習とする。

オ 登録状況 (2023年3月31日現在) (人)

依頼会員数	提供会員数	両方会員数	計
579	49	11	575

(11) 親子通園施設くれよん (旧名称：心身障害児母子通園訓練施設「はげみ園」)

就学前の心身に障がいのある児童及び発達に支援を必要とする児童が保護者とともに通園し、機能訓練及び生活指導を通して生活に必要な力を向上させるとともに、その保護者に対して相談に応じる等の支援を行うことで児童の育成支援を図る。

ア 施設の概要 福社会館内に併設  
沿革

- ①開設 1976年4月 須坂市心身障害児母子通園訓練施設として、中央児童館(須坂市大字須坂1212番地1)内に開設  
民生部福祉課所管  
中央児童館にて入園式挙行 園児23名  
1976年10月 「はげみ園」開園式挙行  
1979年12月 はげみ園増築工事完了  
1983年8～11月 はげみ園・はげみ会を含む身障6団体 福社会館建設につき市へ陳情  
②移設 1986年4月 須坂市福社会館(須坂市大字須坂1218番地)開館にともない「はげみ園」移設  
2006年4月 教育委員会子ども課に所管替え  
2014年4月 名称を「須坂市親子通園施設くれよん」に改める

イ 利用状況 (2022年度)

(人)

児 童 数	年 齢 区 分	
	3歳未満児	3歳以上児

在籍人数	3	3	0
利用延人数	165	165	0

## 2 保育園・幼稚園・認定こども園

### (1) 保育園

(2022年4月1日現在)

保育園名	公私別	所在地	園長名	定員(人)	園児数(人)
須坂東部保育園	公立	大字日滝1185番地1	清原 次恵	150	135
須坂保育園	公立	大字小山1274番地	坂口 千恵	120	106
日野保育園	公立	大字塩川188番地9	横山 亮子	150	125
高甫保育園	公立	大字野辺1097番地1	本多 久子	90	79
井上保育園	公立	大字幸高286番地1	森川 幸子	120	106
北旭ヶ丘保育園	公立	大字小河原3133番地1	竹内由美子	90	74
須坂千曲保育園	公立	大字中島250番地1	中島ひろみ	60	54
豊丘保育園	公立	大字豊丘1066番地	内山祐美子	60	31
相之島保育園	公立	大字相之島391番地1	横田 浩子	60	52
仁礼保育園	公立	大字仁礼7番地13	片桐 一江	120	67
上高井保育園	私立	大字須坂1355番地1	加藤富己子	60	55
豊洲保育園	私立	大字小河原2405番地1	浅井 雅子	60	40
みつばち保育園	私立	大字塩川326番地11	遠山 満里	80	86
やすらぎ保育園	私立	大字日滝2887番地1	坂田 聖子	30	21
さかた山風の子保育園	私立	大字坂田218番地2	小林 庸高	90	99
計 15 園				1,340	1,130

### (2) 認定こども園

(2022年5月1日現在)

園名	公私別	所在地	園長名	定員(人)		園児数(人)
マリアこども園、分園	私立	大字須坂1092番地	安藤 誠	保育園	74	77
				幼稚園	90	67
マリアこども園きたすざか分園	私立	大字小河原1986番地2		保育園	30	5
双葉幼稚園	私立	墨坂四丁目7番4号	垂澤 優樹	保育園	48	54
				幼稚園	90	89
山びこ幼稚園	私立	臥竜四丁目10番2号	神林 典子	保育園	20	9
				幼稚園	45	37
計 3 園					397	338

### (3) 幼稚園

(2022年5月1日現在)

園名	公私別	所在地	園長名	園児数(人)	備考
泉園幼稚園	私立	常盤町	清水 幸子	20	

豊 幼 稚 園	私立	東 横 町	関 二司光	0	
計 2園				20	

#### (4) 保育園給食

##### ア 保育園給食のねらい

- ① 子どもの心身の健全な発育・発達・健康の保持を図る。
- ② 食生活に対する理解と望ましい食習慣を養う。
- ③ 保育園での生活を豊かにし、明るい人間関係を養う。
- ④ 保育園給食を通して、児童の家庭及び地域社会の食生活改善に寄与する。

##### イ 食育活動の推進について

食育を“毎日の園生活に根づいたもの”と位置づけ、魅力ある食育を推進し子どもの健全な心身の成長を図ることを目的とし、様々な食に関わる体験から“食”についての興味を広げ食べる意欲を育てる。

- ① 毎日の給食を媒体とし「楽しい食事年間計画」に基づいた食育活動の実施。(調理技術員との食事、給食のサンプル展示、保育園のもりもり給食ブログ、栄養士食育指導等)
- ② 野菜の栽培、収穫体験の実施
- ③ 収穫祭、親子クッキング、給食の手伝い等の調理活動の実施
- ④ 祖父母など異世代との交流活動を通し、伝統食・郷土料理など食文化について知る。
- ⑤ 給食活動、食育体験を通し、食に関わる興味を広げる。

##### ウ 給食運営について

###### ① 衛生管理

(ア) 保育園給食衛生管理マニュアルに沿った衛生管理の実施

(イ) 保育園職員保菌検査の実施(赤痢菌・サルモネラ菌・大腸菌群・大腸菌O-157、O-26、O-111)

調理技術員及び乳児担当保育士	52人×20回
土曜日調乳担当保育士(正規職員)	53人×12回
代替調理技術員、栄養士及び園長	32人×12回
乳児担当以外の非正規保育士	65人×2回
代替保育士	20人×2回

###### (ウ) 食材検査

- ・サンコリテップによる簡易検査の実施(月1回)
- ・細菌検査実施業者による食材細菌検査(一般細菌・大腸菌群・大腸菌O-157)年2回

- ② 栄養管理 身体状況調査・主食量調査・食生活アンケート等に基づき栄養計画の作成、実施
- ③ 献立会議 各園給食担当者が参加。献立内容及び調理工程等の検討(月1回)
- ④ その他 アレルギー除去食の対応、肥満児指導、食事相談の実施

#### 年間給食実施数

(単位:食)

	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
給食実施食数	284,855	274,155	275,697	269,718	259,978

給食実施数(園児のみ)	232,450	224,654	224,705	218,424	208,851
-------------	---------	---------	---------	---------	---------

1 食当たり給食単価

(単位:円)

	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
3歳未満児	423	432	429	442	444
3歳以上児	256	262	260	258	263

(5) 保育園の施設整備状況

年 度	整 備 内 容	事 業 費 (円)
2010 年度	2011. 3. 31 須坂南保育園閉園 ※ 2011. 4. 1 より民間活力導入 (福)わらべ福祉会「さかた山 風の子保育園開園」	私立保育所施設整備事業補助金 158,897,000
	仁礼・夏端統合保育園実施設計業務委託	11,550,000
2011 年度	仁礼・夏端統合保育園建設工事 木造平屋建て 定員 120 人 建築面積 1,332.10 m <sup>2</sup> 延床面積 1,311.30 m <sup>2</sup>	建築主体 186,900,000 電気設備 43,302,000 機械設備 43,050,000 監理業務 4,935,000
	須坂保育園設計業務委託	11,518,500
	高甫保育園設計業務委託	8,752,800
	須坂保育園建設工事 (2012 年度への繰越し事業) 一部鉄筋コンクリート造平屋建て 定員 120 人	前払金 128,440,000 (繰越し明許費 200,000,000)
	高甫保育園建設工事 (2012 年度への繰越し事業) 木造平屋建て 定員 90 人	前払金 0 (繰越し明許費 280,000,000)
2012 年度	須坂保育園建築主体工事 (繰越し明許) 木造 (一部鉄筋コンクリート造、鉄骨造) 平屋建て 定員 120 人 (2011 年度からの繰越し) 建築面積 1,179.58 m <sup>2</sup> 、延床面積 1,104.93 m <sup>2</sup>	建築主体 141,310,000 電気設備 28,750,000 機械設備 29,940,000 監理業務 5,040,000
	高甫保育園建築主体工事 (繰越し明許) 木造平屋建て 定員 90 人 建築面積 1,047.16 m <sup>2</sup> 、延床面積 915.75 m <sup>2</sup>	建築主体 163,760,100 電気設備 40,110,000 機械設備 48,300,000 監理業務 4,483,500
	相之島保育園設計業務委託	10,055,850
	須坂千曲保育園設計業務委託	9,273,600
2013 年度	相之島保育園建築主体工事 木造平屋建て 定員 60 人 建築面積 919.77 m <sup>2</sup> 、延床面積 797.10 m <sup>2</sup>	建築主体 170,940,000 電気設備 38,713,500 機械設備 46,389,000 監理業務 4,200,000
	須坂千曲保育園建設工事 (2014 年度への繰越し事業)	建築主体 70,140,000 電気設備 13,385,000

	木造平屋建て 定員 60 人 建築面積 915.04 m <sup>2</sup> 延床面積 816.76 m <sup>2</sup>	機械設備 0 監理業務 0 (繰越明許費) 181,285,000
	北旭ヶ丘保育園建設工事 (2014 年度への繰越し事業) 木造平屋建て 定員 90 人 建築面積 1,123.75 m <sup>2</sup> 延床面積 926.13 m <sup>2</sup>	解体工事 5,085,000 建築主体 0 (繰越明許費 189,915,000)
	井上保育園建設工事 (2014 年度への繰越し事業) 木造平屋建て 定員 90 人 建築面積 1,280.44 m <sup>2</sup> 延床面積 1,152.48 m <sup>2</sup>	前払金 0 (繰越明許費 390,000,000)
	北旭ヶ丘保育園設計業務委託	15,561,000
	井上保育園設計業務委託	12,468,750
	豊丘保育園設計業務委託	7,570,500
2014 年度	須坂千曲保育園建築工事 (2013 年度からの繰越し事業) 木造平屋建て 定員 60 人 建築面積 915.04 m <sup>2</sup> 延床面積 816.76 m <sup>2</sup>	建築主体 105,210,000 電気設備 20,110,000 機械設備 51,450,000 監理業務 4,515,000
	北旭ヶ丘保育園建築工事 (2013 年度からの繰越し事業) 木造平屋建て 定員 90 人 建築面積 1,123.75 m <sup>2</sup> 、延床面積 908.79 m <sup>2</sup>	建築主体 175,824,000 電気設備 38,340,000 機械設備 97,200,000 監理業務 4,968,000
	井上保育園建築工事 (2013 年度からの繰越し事業) 木造平屋建て 定員 120 人 建築面積 1,280.44 m <sup>2</sup> 、延床面積 1,152.48 m <sup>2</sup>	建築主体 264,600,000 電気設備 38,340,000 機械設備 79,920,000 監理業務 5,400,000
2015 年度	豊丘保育園建築工事 (2014 年度からの繰越し事業) 木造平屋建て 定員 60 人 建築面積 722.15 m <sup>2</sup> 、延床面積 622.74 m <sup>2</sup>	建築主体 163,080,000 電気設備 23,220,000 機械設備 61,020,000 監理業務 4,428,000

### 3 児童手当等の支給

#### (1) 児童手当

法令に基づき、児童を養育している方に手当を支給することにより、家庭における生活の安定に寄与するとともに、次代の社会を担う児童の健全な育成及び資質の向上に資する。

#### 【2022 年度の支給状況】

2022 年 2 月～2023 年 1 月支給分

0 歳から 3 歳未満の子ども	月額 15,000 円を支給
3 歳以上小学校終了前までの子ども	月額 10,000 円を支給 (第 3 子以降は 15,000 円)
小学校終了後中学校終了前までの子ども	月額 10,000 円を支給

特例給付

月額 5,000 円を支給(一律)

区 分	月 額 区 分 (円)	延 児 童 数 (人)	支 給 金 額 (円)
0 歳 ~ 3 歳 未 満	15,000	9,760	146,400,000
3 歳以上小学校修了前 (第1・2子) (第3子以降)	10,000	34,248	342,480,000
	15,000	5,387	80,805,000
中 学 校 修 了 前	10,000	14,118	141,180,000
特 例 給 付	5,000	2,399	11,995,000
計	—	65,912	722,860,000

支給額合計 722,860,000 円

(2) 児童扶養手当

2022 年度の支給状況

- ・所得により算定された金額 (2023 年 3 月 31 日現在 月額 10,160 円から月額 43,060 円)
- ・第 2 子加算 5,090 円から 10,160 円(2023 年 3 月 31 日現在)
- ・第 3 子以上加算 3,050 円から 6,090 円(2023 年 3 月 31 日現在)
- ・延受給者数 3,852 人 151,001,890 円

(3) 特別児童扶養手当 (国委託事業)

2022年度の受給権者数 158人 (2022年12月31日現在)

## 4 児童・青少年健全育成事業

(1) 都市宣言

### 未来を担う児童・青少年育成都市宣言

(2000年12月14日宣言)

明日の須坂市を担う児童・青少年が心身ともに健やかに、たくましく、美しく成長することは市民すべての願いである。

この願いを実現し、児童・青少年の輝かしい未来をひらくために、すべての大人が児童・青少年の先達としてその姿勢を正し、なによりも児童・青少年の生命と人権を擁護し尊重するとともに、児童・青少年の問題について一層の関心を高め、家庭・学校・地域が一体となり、市民の心と英知をあつめ、総力をあげて未来を担う児童・青少年の育成に努めなければならない。

よって、21世紀の新しい時代、決意も新たに須坂市を「未来を担う児童・青少年育成都市」とすることを宣言する。

(2) 未来を担う人づくり運動

今日の急激な社会構造の変化や地域連帯感の低下等から児童青少年をとりまく社会環境も悪化し、少年非行及び被害は極めて憂慮すべき状態にある。

このようなときにあたり、未来を担う児童青少年を「たくましく心豊かに」育成することは、現代社会に生きるものの責務である。2000年12月14日制定の「未来を担う児童・青少年育成都市宣言」を受けて次代を担う児童青少年の健全育成をより幅広く展開するため、地域社会、家庭、学校、

行政の各分野における責任と役割を自覚しその使命を果たすため市民総ぐるみで「未来を担う人づくり運動」を積極的に取り組むものである。

(3) 児童青少年総合対策本部

1965年、児童青少年の健全育成に関する総合的な計画を樹立し、関係機関、団体と緊密に連携を図り健全育成事業を推進するため、市長を本部長とし、副市長、教育長を副本部長、本部員をもって構成した総合的対策本部を設置して、実践活動の推進を図り現在に至る。

(4) 子育てセミナー（家庭教育講座）

1980年「未来を担う人づくり運動」の一環として、母親大学（家庭教育講座）を発足させた。1997年度より、子育てセミナーと改称し、親の責任と役割の自覚を高めると共に地域で地域の子育てをねらいとし、子どもの発達段階に応じた家庭教育や地域社会における子育てのあり方を学習し、明るい家庭・明るい地域づくりの基盤に資するため、児童青少年総合対策本部が主体となり、育成会・幼稚園・保育園・認定こども園等と協力して開催している。

2022年度は、育成会関係で10回開催し217人参加、幼・保・認定こども園で12回開催し162人参加した。

(5) 子どもスポーツフェスティバル

2015年度まで50回にわたり毎年開催してきた少年球技大会に代わるものとして、2016年度から、スポーツの楽しさをあじわい、互いに交流を深めるとともに、心美しい人間性とたくましい身体を作ることを目的に、ニュースポーツで勝敗をつけないゲーム形式のドッジビー交流会を開催している。

なお、2015年度まで開催してきた少年球技大会（ソフトボール1966年～、ドッジボール1974年～）は、親しむスポーツの多様性やクラブ・習い事・塾など、子どもたちの休日の過ごし方の変化による参加者の減少が課題であった。2022年度は、3チーム参加した。

(6) 姉妹都市三浦市との親善交流

1974年4月23日、市制施行20周年記念事業の一環として、神奈川県三浦市と姉妹都市が提携され、その事業のひとつとして毎年夏休み中に両市の児童・生徒が、お互いに訪問しあい親善交流を深めることを目的に開催している。

なお、2019年度より積極的な参加者の減少や民泊協力家庭の確保が困難といった課題を解消するため、学校推薦方式ではなく、三浦市の児童・生徒の民泊受入れができることを条件に、小学4年生から中学3年生を対象とし、リピーターも参加できることとした。2022年度は、コロナ禍の影響により中止とした。

(7) 育成会活動

1965年、児童青少年の健全育成を目的として市内51町に育成会を設置し、その後、東村の合併や新興団地の造成により、現在は市内67町に育成会が設置されている。2022年度は各町育成会活動交付金として4,965千円を交付した。

(8) 児童青少年育成センター

1967年、児童青少年総合対策本部の実施機関として、青少年の健全育成に関係のある機関団体及び民間有識者の協力により、主として街頭巡視補導活動、環境浄化活動等を行っている。各小学校単位のブロックを構成しており、児童青少年育成委員83人が活動した。

(9) 運動施設整備事業

地域における児童青少年の健全育成を推進するため、育成会等の自主活動により運動施設を設置する事業経費に対し補助金を交付している。2022年度は、1件、166千円を交付した。

(10) 農業小学校運営事業

子どもたちの健やかな成長に欠かせない、自然・体験活動不足の現状を考慮し、子どもたちがたくましい精神力・創造力等を身につけることを願い、総合的・自主的な体験活動の場として、2005年度の開校以来、毎年、「信州すざか農業小学校」を開いている。

本事業では、異年齢の子どもたちや保護者、地域の大人(農家先生15人)とのふれあいをおし、相互の仲間づくりや世代間交流、地域連帯感を養うとともに、地域の文化にふれることにより、ふるさと須坂の良さを再発見する手助けをしている。

開校から18年目の2022年度は、4月から12月にかけて11回開催(月1～2回、土・日・祝日の半日)し、農作業や園里郷土資料館見学等の豊富なプログラムに41人の児童が取り組み、開校以来延べ799人の修了者を輩出した。

# VI 文化スポーツ課

## 1 沿革

- 1965年 児童青少年総合対策本部が発足・各町単位に育成会を設置
- 1966年 少年球技大会が始まる。
- 1967年 企画課内に児童青少年育成センターを設置（44年に教育委員会に移管）
- 1968年 花いっぱいコンクールが始まる。
- 1969年 文化財保護条例を制定・社会教育委員を設置
- 1971年 教育委員会が課制となり社会教育課が新設される。
- 1972年 キッチンダイヤル始める。（昭和52年廃止）
- 1974年 新生活運動推進委員会が発足  
神奈川県三浦市と姉妹都市が提携され、小中学生の親善訪問が始まる。
- 1977年 体育課新設
- 1980年 「未来を担う人づくり運動」の展開  
母親大学（家庭教育講座）の開講（昭和57年から母親、父親大学と改称）  
児童青少年育成市民会議の発足・婦人問題懇談会の発足
- 1983年 文化財調査委員会の設置
- 1984年 社会教育課内に婦人係設置・文化財取得基金の設置  
文化財保護条例を全部改正し文化財の保存及び活用に関する条例を制定する。
- 1986年 須坂市指定文化財として新たに9件指定する。
- 1987年 市内の祭屋台を一斉に公開展示する。
- 1988年 須坂市ミニ博物館設置事業補助金交付要綱を制定する。  
社会教育課内に文化施設建設係設置
- 1989年 文化施設建設係を文化施設建設室とする。  
須坂市指定文化財として新たに10件指定する。
- 1990年 婦人問題庁内連絡会の設置
- 1991年 社会教育課内に文化係設置・文化施設建設室を廃止した。  
須坂市指定文化財として新たに8件指定する。
- 1992年 女性行動計画推進委員会設置・女性行動計画推進庁内連絡会設置・生涯学習推進研究委員会の設置  
須坂市指定文化財として新たに1件指定する。
- 1993年 社会教育課に生涯学習室を設置・生涯学習推進委員会設置  
女性プラン推進市民会議設置・婦人係を女性係とする。  
須坂市生涯学習基本構想を策定  
須坂市指定文化財として新たに2件指定する。
- 1994年 須坂市指定文化財として新たに5件指定する。
- 1995年 生涯学習推進市民会議設置・社会教育課に女性室を設置。生涯学習室を公民館内に移設  
須坂市指定文化財として新たに3件指定する。
- 1997年 社会教育課を生涯学習課に、生涯学習室を生涯学習推進センターとする。  
家庭教育講座「母親・父親大学」を「子育てセミナー」に改称する。

- 須坂市指定文化財として新たに2件指定する。
- 1998年 生涯学習推進研究委員会を廃止。  
生涯学習推進委員会を廃止。  
生涯学習まちづくり市内推進委員会設置。
- 1999年 ガイドセンターを改修し、シルキープラザを設置する。  
岩波書店、信濃毎日新聞社の協力により信州岩波講座を開講する。  
生涯学習推進員設置。
- 2000年 未来を担う児童・青少年育成都市を宣言する。  
須坂市指定文化財として新たに2件指定する。
- 2001年 すざか女性未来館を所管する。
- 2002年 須坂市生涯学習推進協議会を設置
- 2005年 勤労青少年ホーム創造の家を所管する。
- 2006年 青少年係を新設の子ども課に移し、生涯学習課と体育課を統合して生涯学習係、文化財係及び体育振興係の3係とし、生涯学習体育課とする。  
峰の原高原自然体験センターを所管する。  
須坂市指定文化財として新たに1件指定する。
- 2007年 須坂市旧上高井郡役所を所管する。  
須坂市指定文化財として新たに3件指定する。
- 2008年 須坂市指定文化財として新たに2件指定する。
- 2009年 機構改革により、生涯学習部門を市長部局へ移管。文化財保護・図書館・博物館業務及び学校施設開放業務は、市長部局補助執行となる。  
須坂市旧上高井郡役所を公民館の所管とする。  
生涯学習体育課を、生涯学習スポーツ課とし、体育振興係をスポーツ振興係とする。  
須坂市指定文化財として新たに2件指定する。
- 2010年 須坂市子ども読書活動推進計画を策定する。  
峰の原高原自然体験センターを廃止する。  
須坂市指定文化財として新たに8件指定する。
- 2011年 文化芸術振興ビジョンを策定する。  
すざか子ども読書ちゃれんじを開始する。  
ふれあい館まゆぐら2階に須坂市立博物館まゆぐら分館を設置。  
須坂市指定文化財として新たに11件指定する。
- 2012年 須坂市指定文化財を1件解除し、新たに1件指定する。
- 2013年 須坂市指定文化財として新たに1件指定する。  
市内の文化財を紹介するウェブサイト「信州須坂のおたから」を開設する。
- 2014年 須坂市指定文化財を1件解除する。
- 2015年 須坂市指定文化財として新たに1件指定する。
- 2016年 新たに国指定文化財が1件指定され、それに伴い須坂市指定文化財を1件解除する。
- 2018年 新たに県指定文化財が1件指定され、それに伴い須坂市指定文化財を1件解除する。
- 2019年 須坂市指定文化財を1件解除し、新たに1件指定する。  
須坂市文化振興資金積立基金条例を廃止

- 2020年 生涯学習スポーツ課を文化スポーツ課とし、生涯学習部門は生涯学習推進課とする。  
須坂市社会教育委員、公益信託駒澤嘉須坂生涯学習振興基金にかかる事務を生涯学習推進課へ移管  
新たに県指定文化財が1件指定される。  
市内の文化財や回遊ルート、体験記等を紹介するウェブサイト「須坂のまるごと博物館」を開設し、これに伴いウェブサイト「信州須坂のおたから」を終了する。
- 2021年 須坂市指定文化財を1件解除する。  
伝統的建造物群保存地区保存条例を制定し、伝統的建造物群保存地区保存審議会を設置する。
- 2022年 文化スポーツ課に、重伝建推進係を設置

## 2 文化芸術・交流活動の推進

市民の文化芸術への関心を高めるとともに、市民の生き生きとした自主的な文化芸術活動や、優れた芸術鑑賞活動等を支援し、豊かな市民生活を実現する。

### (1) 文化芸術活動の支援

信州岩波講座、子どもの読書活動を推進、(一財)須坂市文化振興事業団が行う自主事業、須坂市文化芸術協会が実施する市民の文化芸術の普及事業、及びドリームコンシェルによる小学生の演劇公演「キッズシアタープロジェクト直虎」を支援。

### (2) 文化施設の管理

市民による文化活動推進、文化意識の向上のため、芸術文化関連施設の適切な維持管理を行う。  
メセナホール、須坂クラシック美術館、旧小田切家住宅、須坂版画美術館、歴史的建物園、世界の民俗人形博物館の管理運営。

### (3) 文化施設の整備

文化環境の向上、芸術文化施設の充実のため、文化施設の整備を行う。  
村石町の旧学校給食センター跡地等において、イベント広場を整備する工事を実施した。  
(2022～2023年度の2ヵ年事業)

## 3 文化財保護

### (1) 基本方針

指定文化財を「須坂市のおたから」として、市民が親しみやすく接することができるものにしていくとともに、積極的に文化財の調査や研究を実施することで、貴重な文化財の保護事業を展開する。また、調査・研究等に関わる情報を、学習教材としてわかりやすく市民に公開し、市民とともに文化財を愛護し生かす。

その具体的施策として、説明板を設置し市民の学習資料として活用する。また文化財の基礎資料の調査・研究を進めるとともに、各種文化財等の情報をウェブサイト「須坂のまるごと博物館」を通じて積極的に公開していく。

須坂市に代々受け継がれた町家・土蔵など建造物の集まりと、裏川用水・石垣・樹木などの周辺の環境を、歴史的・景観的なまとまりとして、須坂市にしかない価値の保存・整備を進める。歴史的町並みが将来に向けて適切に保存され、有効に活用されることで守り伝えるため、文化財保護

法の「重要伝統的建造物群保存地区制度(重伝建)」を活用したまちづくりを進める。

歴史的な町並みを後世に伝えるために重要伝統的建造物群保存地区の選定を目指し、須坂市伝統的建造物群保存地区保存条例に基づく須坂市伝統的建造物群保存地区保存審議会により、保存活用計画案等について審議を行っている。

## 指定文化財一覧

2023年3月31日現在

番号	名称等	所在地	※所有者	指定年月日
----	-----	-----	------	-------

### ◆国指定文化財 2件

名勝				
1	米子瀑布群	大字米子 1422-1 ほか	米子町 ほか	平成 28 年 10 月 3 日
特別天然記念物				
1	カモシカ (偶蹄目：ウシの仲間)	市内山間地		昭和 30 年 2 月 15 日

### ◆県指定文化財 8件

県宝				
1	旧小田切家住宅（建造物）	大字須坂 423-1（春木町）	須坂市	平成 30 年 9 月 27 日
無形民俗文化財				
1	野辺の来迎念仏 (念仏踊り)	大字野辺（野辺町）	野辺来迎念仏 保存会	平成 9 年 8 月 14 日
2	須坂祇園祭（祭礼）	大字須坂	芝宮墨坂神社 氏子総代会	令和 2 年 9 月 28 日
史 跡				
1	八丁鎧塚（積石塚古墳）	大字八町字鎧塚 287, 285 (上八町)	上八町、須坂 市	昭和 40 年 2 月 25 日
2	井上氏城跡（中世城館跡）	大字井上 2474 ほか (井上町) (館跡)	個人	昭和 40 年 2 月 25 日
		大字井上 3269 ほか (井上町) (山城)		
天然記念物				
1	ミヤマモンキチョウ (高山蝶)	峰の原高原		昭和 50 年 2 月 24 日
2	ベニヒカゲ (高山蝶)	破風高原・峰の原高原		昭和 50 年 2 月 24 日
3	井上の枕状溶岩 (自然現象)	大字井上 3274 十九ヶ壠 (井上町)	個人	平成 4 年 2 月 20 日

### ◆市指定文化財 86件

有形文化財				
1	勝善寺文書（中世古文書）	大字須坂 122（本上町）勝善寺	同 左	昭和 45 年 5 月 25 日
2	八丁鎧塚出土品 （考古資料）	臥竜 2-4-1 須坂市立博物館	須坂市	昭和 45 年 5 月 25 日
3	人物埴輪（考古資料）	臥竜 2-4-1 須坂市立博物館	霧原大元神社	昭和 45 年 5 月 25 日
16	郷倉（建造物）	大字仁礼 1084-1（仁礼町）湯河原	（財）仁礼会	昭和 50 年 4 月 1 日
17	時の鐘の「鐘楼」（建造物）	大字須坂 756（常盤町）	須坂市	昭和 50 年 4 月 1 日
20	須坂園芸高校出土の 弥生式土器（考古資料）	臥竜 2-4-1 須坂市立博物館	須坂創成高校	昭和 55 年 9 月 20 日
21	木造聖徳太子立像（彫刻）	大字小山 353（南原町）普願寺	同 左	昭和 59 年 6 月 1 日
22	木造不動明王立像（彫刻）	大字米子 1057（米子町）不動寺	同 左	昭和 59 年 6 月 1 日
23	木造百万塔（工芸品）	臥竜 2-4-1 須坂市立博物館	須坂市	昭和 61 年 10 月 17 日
32	天神一号埴出土品 （考古資料）	臥竜 2-4-1 須坂市立博物館	須坂市	平成元年 10 月 1 日
33	須坂吉向焼（工芸品）	大字小山 476 ほか （穀町）田中本家博物館 ほか	同 左 ほか	平成元年 10 月 1 日 追加名称変更 平成 24 年 3 月 30 日
34	木造秋葉三尺坊 大権現神像（彫刻）	大字日滝 629（本郷町）蓮生寺	同 左	平成元年 10 月 1 日
35	蓮生寺絵馬（美術）	臥竜 2-4-1 須坂市立博物館	蓮生寺	平成元年 10 月 1 日
36	福島の大幟（書）	大字福島 191 （福島町）福島天神社	同 左	平成元年 10 月 1 日
37	銅製鰐口（金工品）	大字井上 2579（井上町）小坂神社	同 左	平成元年 10 月 1 日
38	臥竜山百番観音（石造物）	臥竜 3 丁目 ほか（臥竜山）	興国寺	平成元年 10 月 1 日
42	普願寺本堂と鐘楼 （建造物）	大字小山 353（南原町）普願寺	同 左	平成 4 年 1 月 4 日
43	著色天井絵大鷲図（美術）	大字沼目 494-2 （沼目町）沼目薬師堂	沼目町	平成 4 年 1 月 4 日
44	木造薬師如来座像（彫刻）	大字沼目 494-2 （沼目町）沼目薬師堂	沼目町	平成 4 年 1 月 4 日
45	ステンドグラス（工芸品）	臥竜 2-4-1 須坂市立博物館	須坂市	平成 4 年 1 月 4 日
46	庚申塔（石造物）	大字福島 175（福島町）西福寺	同 左	平成 4 年 1 月 4 日
47	滝山不動寺奥之院 （建造物）	大字米子 1421（米子町）奥の院	滝山不動寺	平成 4 年 1 月 4 日
50	旧園里学校（建造物）	大字豊丘 1076（豊丘上町）新田	須坂市	平成 5 年 4 月 1 日
52	丸山家文書（近世古文書）	臥竜 2-4-1 須坂市立博物館	須坂市	平成 6 年 1 月 4 日
53	円光寺太鼓堂（建造物）	大字小山 360（南原町）円光寺	同 左	平成 6 年 9 月 1 日

58	元牧新七家（建造物）	大字須坂 371-6 （東横町） クラシック美術館	須坂市	平成 7 年 1 月 4 日
59	絹本著色釈迦三尊像 （絵画）	大字井上 2618（井上町）浄運寺	同 左	平成 8 年 1 月 4 日
60	本郷大塚古墳出土品 （考古資料）	臥竜 2-4-1 須坂市立博物館	（一社）日滝 史蹟保存会	平成 8 年 1 月 4 日
62	奇妙山石仏群と千体仏	大字米子 86・チほか （米子町）（石仏群）	長野営林署、 万竜寺	平成 9 年 5 月 1 日
		大字亀倉 424（亀倉町）（千体仏）		
64	大日如来道標（石造物）	大字豊丘 3279-3（豊丘上町）	豊丘水利組合	平成 12 年 4 月 1 日
67	太子堂と聖徳太子絵伝 （建造物・絵）	大字須坂 900-2（太子町）	須坂市、太子 町	平成 19 年 12 月 6 日
72	浄運寺本堂（建造物）	大字井上 2618（井上町）	浄運寺	平成 22 年 3 月 9 日
73	東照寺本堂の欄間	大字米子 463（米子町）	東照寺	平成 22 年 3 月 9 日
74	姦譜	臥竜 2-4-1 須坂市立博物館	同左	平成 23 年 3 月 31 日
82	出山釈迦如来立像（彫刻）	大字井上 2618（井上町）	浄運寺	平成 24 年 2 月 29 日
83	浄運寺の六角堂（建造物）	大字井上 2618（井上町）	浄運寺	平成 24 年 2 月 29 日
84	旧牧家（建造物）	大字野辺 1386-8 須坂市歴史的建物園	須坂市	平成 24 年 2 月 29 日
85	元板倉家（建造物）	大字野辺 1386-8 須坂市歴史的建物園	須坂市	平成 24 年 2 月 29 日
86	長屋門（建造物）	大字野辺 1386-8 須坂市歴史的建物園	須坂市	平成 24 年 2 月 29 日
87	武家長屋（建造物）	大字野辺 1386-8 須坂市歴史的建物園	須坂市	平成 24 年 2 月 29 日
88	鍔絵「牛乃乳」	大字須坂 812-2（常盤町） 須坂市旧上高井郡役所	須坂市	平成 24 年 2 月 29 日
89	中澤吉四郎家文書 （近代文書）	大字須坂 812-2（常盤町） 須坂市旧上高井郡役所	須坂市	平成 24 年 2 月 29 日
94	上杉景勝書状 （近世古文書）	臥竜 2-4-1 須坂市立博物館	須坂市	平成 27 年 11 月 25 日
95	旧上高井郡役所（建造物）	大字須坂 812-2（常盤町）	須坂市	令和 2 年 3 月 6 日
<b>有形民俗文化財</b>				
51	笠鉾・屋台（祭事用具）	大字須坂 410-1（横町）笠鉾会 館	穀町ほか 12 町	平成 5 年 1 月 4 日
<b>無形民俗文化財</b>				
18	獅子狂言「梅川」（獅子舞）	大字村山（村山町）	村山神楽保存 会	昭和 50 年 4 月 1 日
39	高梨の牛獅子（獅子舞）	大字高梨（高梨町）	高梨太々神楽	平成元年 10 月 1 日

			保存会	
48	上八町の赤熊	大字八町（上八町）	上八町郷土芸能保存会	平成4年1月4日
66	下八町太々神楽（獅子舞）	大字八町（下八町）	下八町太々神楽保存会	平成19年3月13日
<b>史 跡</b>				
4	井上氏史跡（中世遺跡）	大字井上 2916-1 ほか （井上町）（井上氏墳墓）	井上町 ほか	昭和45年5月25日
		大字井上 3135-1 ほか （井上町）（竹ノ城跡）		
5	福島宿道標（街道遺跡）	大字福島 22-2（福島町）	福島町	昭和45年5月25日
6	須田古城跡（中世山城）	臥竜3丁目 ほか（臥竜山）	興国寺 ほか	昭和45年5月25日
7	吉向焼窯跡（近世古窯跡）	大字坂田 683-2 ほか （穀町）大和合	個人	昭和45年5月25日
8	東行社跡（近代産業遺跡）	大字須坂 785-1 ほか（穀町）	北水社	昭和45年5月25日
9	俊明社跡（近代産業遺跡）	大字須坂 1101-2 ほか（馬場町）	須坂市 ほか	昭和45年5月25日
12	大岩城跡（中世山城）	大字日滝 5153 ほか （本郷町）天狗岩	個人	昭和47年3月1日
13	石小屋洞穴（洞穴遺跡）	大字仁礼 3164-7 （仁礼町）仁礼山	井上町 ほか 3町	昭和47年3月1日
24	天神1号墳（古墳）	大字米持 775-1 ほか（米持町）	須坂市	昭和61年10月17日
61	本郷大塚古墳（古墳）	大字日滝 751（本郷町）	（一社）日滝 史蹟保存会	平成8年1月4日
63	奇妙山遺跡（信仰遺跡）	大字米子 国有林 86 ほか （米子町）米子山	長野営林署	平成9年5月1日
65	旧大笹街道峠道（街道遺跡）	大字仁礼仁礼山・峰の原	（財）仁礼会	平成12年4月1日
92	須坂基線西端点（一等三角点）	大字小河原 2269-1（小河原町） 別府山道南沖	国土交通省国 土地理院	平成25年3月21日
<b>名 勝</b>				
10	臥竜山（丘陵）	臥竜3丁目 ほか（臥竜山）	興国寺 ほか	昭和45年5月25日
<b>天然記念物</b>				
15	延命地藏堂の桜（樹木）	大字豊丘 1078-2 （豊丘上町）新田	須坂市	昭和47年3月1日
19	ミヤマツチトリモチ （植物）	大字豊丘字乳山		昭和50年4月1日
25	熊野神社のエノキ（樹木）	大字塩川 536（塩川町）熊野神社	塩川町	昭和61年10月17日
28	仙仁山のハルニレ（樹木）	大字仁礼（仁礼町）山ノ神	（財）仁礼会	昭和61年10月17日
29	万竜寺のクマスギ（樹木）	大字亀倉 424（亀倉町）万竜寺	同 左	昭和61年10月17日

30	墨坂神社社叢（樹林）	墨坂 1-8-1 ほか 墨坂神社	同 左	昭和 61 年 10 月 17 日
31	小坂神社社叢（樹林）	大字井上 2578 ほか （井上町）小坂神社	同 左	昭和 61 年 10 月 17 日
40	臥竜山根あがりねじれ松 （樹木）	臥竜 3 丁目 ほか 臥竜山	興国寺	平成元年 10 月 1 日
49	臥龍梅（樹木）	臥竜 3-3-1 興国寺	同 左	平成 4 年 1 月 4 日
54	大広院のカヤノキ（樹木）	大字八町 2258（下八町）大広院	同 左	平成 6 年 9 月 1 日
57	広正寺のエドヒガン （樹木）	大字野辺 669（野辺町）広正寺	同 左	平成 6 年 9 月 1 日
69	大日向観音堂しだれ桜 （樹木）	大字豊丘上台 230（大日向町）	大日向町	平成 19 年 12 月 6 日
70	長妙寺の桜（樹木）	大字豊丘字内山 2787（豊丘町）	長妙寺	平成 21 年 3 月 12 日
71	弁天さんのしだれ桜 （樹木）	大字豊丘中灰野梅ノ木地区 （豊丘上町）梅ノ木	豊丘上町	平成 21 年 3 月 12 日
75	東照寺の桜（樹木）	大字米子 464（米子町）東照寺	同 左	平成 23 年 3 月 31 日
76	萬龍寺の桜（樹木）	大字亀倉 424（亀倉町）萬龍寺	同 左	平成 23 年 3 月 31 日
77	金毘羅山の桜（樹木）	大 字 亀 倉 427- イ、886- ロ （亀倉町）	同 左	平成 23 年 3 月 31 日
78	亀倉神社の桜（樹木）	大字亀倉字本郷 412 （亀倉町）亀倉神社	同 左	平成 23 年 3 月 31 日
79	高顕寺の桜（樹木）	大字仁礼字大狭 873-ハ 876-イ （仁礼町）高顕寺	同 左	平成 23 年 3 月 31 日
80	大広院の桜（樹木）	大字八町 2260-2 （下八町）大広院	同 左	平成 23 年 3 月 31 日
81	洞入観音堂のイチョウ （樹木）	大字豊丘字洞入 2638-1 （豊丘町）洞入観音堂	同 左	平成 23 年 3 月 31 日
90	豊丘の穴水（自然現象）	大字豊丘 3321-22	須坂市豊丘財 産区	平成 24 年 2 月 29 日
91	西五味池のモミの木 （樹木）	大字豊丘 3321-1	須坂市豊丘財 産区	平成 24 年 2 月 29 日
<b>◆登録有形文化財 7 件</b>				
	旧越家住宅	大字須坂 435-2 ほか（春木町）	須坂市	平成 15 年 9 月 19 日
	ふれあい館しらふじ （旧丸田医院）	大字須坂 32-1（本上町）	須坂市	平成 15 年 9 月 19 日
	ふれあい館まゆぐら （旧田尻製糸）	大字須坂 387-2（東横町）	須坂市	平成 15 年 9 月 19 日
	田中本家博物館	大字小山 476 ほか（穀町）	（財）田中本 家博物館	平成 15 年 9 月 19 日

塩屋醸造	大字須坂 537 (新町)	個人	平成 19 年 5 月 15 日
須高農業協同組合井上支所	大字井上幸高 447-2 (幸高町)	須高農業協同組合	平成 27 年 11 月 17 日
中野家住宅	大字須坂 420 (中町)	個人	平成 28 年 2 月 25 日

## 4 図 書 館

### 位 置

須坂市大字須坂803番地 1

### 沿 革

- 1923年 8 月 設立決議、創立具体的計画（皇太子殿下御成婚記念事業）
- 1926年 3 月 須坂町青年会により須坂小学校の一室に開館
- 1939年 4 月 町に移管し、旧町役場の一室に移転。名称 町立須坂図書館
- 1940年11月 篤志により基本図書の寄贈をうけ、内容の充実を図る。
- 1948年11月 創立25周年、町立10周年を記念して第2次基本図書の充実を図る。
- 1950年 6 月 分類をNDC（日本十進分類法）に変更
- 1952年 6 月 自由開架式に改める。
- 1955年 3 月 読書会指導者養成研修会と読書会普及運動を起こす。
- 6 月 各支所へ配本所を設置する。4カ所
- 1956年 7 月 史談会を発会、読書会連絡会を毎月開催
- 1957年 9 月 読書会大会開催
- 1958年12月 婦人会へ配本実施、市内各支部単位に毎月1回。
- 1965年10月 市庁舎新築により、旧庁舎（分室を改築）あとへ移転し内容の充実を図る。
- 1968年 7 月 須高母親文庫に須坂市の小学校PTAが加入する。6校（45年9校、46年10校）
- 1969年 2 月 高甫図書館を吸収する。
- 1970年10月 須坂市で第20回長野県図書館大会開催
- 1973年 4 月 図書配本車を購入し、配本業務を開始する。配本所26カ所（小学校、保育園、公会堂等）
- 1978年 4 月 10歳未満の入館制限を廃止する。
- 1980年 8 月 改築工事着工、翌年2月竣工。
- 1981年 4 月 新館へ移転開館（4月5日）
- 6 月 読み聞かせ、紙芝居会開始
- 12月 お茶の間折紙会発足
- 1983年 8 月 声のライブラリー開設により、視聴覚コーナーの充実を図る。
- 1985年 4 月 母親文庫に市内中学校全員加入
- 1987年 6 月 2階へ冷房装置設置
- 6 月 録音室改造工事完了
- 1988年10月 第38回長野県図書館大会開催
- 1989年 7 月 信濃毎日新聞のマイクロフィルム購入開始  
マイクロリーダープリンター購入
- 1992年 7 月 1階へ冷房装置設置

1994年 3月	屋根修繕（塗装）工事
7月	図書配本車を更新する。
1996年 9月	外壁整備工事
1997年 7月	閉架書庫空調機・除湿機設置工事
1998年 3月	便所タイル修繕工事
7月	前庭整備工事（身障者用スロープ付け替え）
2001年 3月	図書電算化稼働
5月	インターネットによる予約申込み開始
2002年 9月	男子便所タイル修繕工事
2003年 3月	玄関自動ドア修繕
2005年 4月	すざかびとのコーナー開設
2006年 4月	平日の開館時間1時間延長実施
2007年 4月	祝日開館実施
7月	利用者カード変更、図書館システム更新
2008年 8月	駐輪場増設
2009年 7月	冷暖房設備改修工事
2010年 5月	旧ボイラー室改修工事（新聞庫を移設） 第2書庫開設（旧新聞庫）
2012年 3月	配本用図書電算化完了
7月	図書館システム更新
2013年 1月	信濃毎日新聞データベース導入
7月	図書配本車を更新
11月	信州須坂どこでも図書館開始
2015年 3月	信州須坂どこでも図書館マップ及び看板を作成 須坂市PTA文庫解散
4月	信州須坂PTAブッククラブ設置
11月	トイレ改修工事
2016年 7月	図書館エントランス修繕工事
2017年 3月	駐車場修繕工事
7月	図書館システム更新 閲覧コーナー改修工事 児童室改修工事
2018年 7月	読書室パーテーション移設工事 車庫間仕切り工事
2019年 1月	誘導灯設置工事
2月	西館講習室貸出開始
2020年 4月	正面玄関手すり設置工事 空調機圧縮機他部品交換修繕 コロナ禍により、申込貸出制による貸出を実施（4月29日～5月18日）
2021年 3月	入館手続き用サーマルカメラ及びバーコードスキャナシステム購入・設置

4月	コロナ禍により、申込貸出制による貸出を実施(4月13日～21日、8月24日～9月12日)
5月	図書除菌機2台購入・設置
11月	館内Wi-Fi環境整備
2022年3月	扁額「須坂図書館」修復
8月	市町村と県による協働電子図書館(「デジとしょ信州」)サービス開始

## 施設の概要

敷地面積	1,122㎡	延床面積	1,375.46㎡			
主要施設	読書室(51席)	休憩コーナー(16席)	美術室	郷土資料室(6席)	録音室	
	閲覧コーナー(18席)	児童室(12席)	図書整理室	事務室	新聞庫	
	書庫2	西館講習室2				

## 目 標

市民の教養、知識の糧として、また、誰もが気軽に活用できる図書館。多様な市民の多様なニーズに応えられるよう、職員も見識を高め、市民とともに育つ図書館。講座やイベントを通して、市民がつながる拠点となるよう、重点目標を掲げて図書館奉仕に努めている。

## 重点目標

- (1)資料の充実と環境の整備を図る。
- (2)郷土資料の収集・保管に努め、調査・探究に応える。
- (3)地域公民館や学校と連携し、読書環境の支援に努める。
- (4)障がい者へのサービス向上を図る。
- (5)ボランティアを育成し、市民の自主的な読書活動を支援する。

## 蔵書の状況

本館用図書冊数

2022年度末現在(単位 本:冊 ソフト:点)

分類	前年度末	購入	寄贈	計	除籍	総冊数
一般図書	93,700	2,030	57	95,787	943	94,844
小説	14,715	449	4	15,168	24	15,144
参考図書	5,352	58	7	5,417	8	5,409
郷土資料	6,469	9	69	6,547	1	6,546
一般小計	120,236	2,546	137	122,919	976	121,943
児童図書	33,249	848	27	34,124	163	33,961
絵本	17,948	480	9	18,437	129	18,308
紙芝居	1,755	26	1	1,782	2	1,780
児童小計	52,952	1,354	37	54,343	294	54,049
雑誌	5,390	956	71	6,417	1,015	5,402
ビデオテープ	26	0	0	26	0	26
CD	2,114	49	1	2,164	11	2,153

テープ図書	395	0	0	395	0	395
DVD	2,079	32	6	2,117	1	2,116
行政資料	1,707	2	9	1,718	0	1,718
その他小計	11,711	1,039	87	12,837	1,027	11,810
本館用合計	184,899	4,939	261	190,099	2,297	187,802

配本室用図書冊数

2022年度末現在（単位：冊）

区分	前年度末	購入	寄贈	計	除籍	総冊数
配本室用	30,779	739	7	31,525	5	31,520

本館・配本室図書総冊数

2022年度末現在（単位：冊）

区分	前年度末	購入	寄贈	計	除籍	総冊数
蔵書総冊数	215,678	5,678	268	221,624	2,302	219,322

図書館登録者数（2022年度新規）

区分	本館 （人）	地域公民館等 （人）	計（人）	団体 （団体）
登録者数	990	1,239	2,229	6

図書館の利用状況

図書貸出状況

（単位：冊）

区分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
本館	個人	17,910	17,691	14,531	15,023	19,284	17,316	18,734	18,124	17,966	16,460	18,993	18,507	210,539
	団体	286	315	557	196	210	275	371	319	213	444	377	196	3,759
配本所	地域公民館等	528	653	944	819	757	900	808	816	749	753	775	750	9,252
計		18,724	18,659	16,032	16,038	20,251	18,491	19,913	19,259	18,928	17,657	20,145	19,453	223,550

音訳奉仕活動

音訳ボランティア「須坂あかりの会」の協力により作成した音訳CDを、視覚障害者や読書の困難な方々に利用していただいている。

図書館利用状況の推移

年度	年度末蔵書冊数 （冊）	登録者総数		貸出冊数 （冊）	市民一人当たり	
		団体 （団体）	個人 （人）		貸出冊数（冊）	蔵書冊数（冊）
2013	188,698	242	22,399	287,103	5.48	3.60
2014	192,659	247	22,909	271,000	5.21	3.70

2015	196,220	253	23,414	266,323	5.15	3.79
2016	200,730	265	24,414	264,340	5.13	3.90
2017	203,850	282	23,956	254,783	4.97	3.98
2018	206,590	287	23,582	265,330	5.21	4.05
2019	210,130	305	24,243	269,897	5.32	4.14
2020	212,179	293	24,236	218,418	4.33	4.20
2021	215,678	298	24,812	212,975	4.23	4.28
2022	219,322	301	25,441	214,298	4.29	4.39

## 5 博物館

### 位 置

須坂市立博物館（本館） 須坂市臥竜二丁目4番1号  
 須坂市笠鉾会館ドリームホール（分館） 須坂市大字須坂410番地1

### 沿 革

1960年 市内の文化財収集はじまる。  
 1966年 国庫補助を受けて、臥竜公園内に新築開館（総工費9,500,000円）。  
 1970年 登録博物館となる。（2月20日付）  
 第1回きこ展はじまる。  
 1976年 堅穴式住居・勝善寺鬼瓦を館外に展示する。  
 1979年 新館増築（総工費22,394,000円）  
 1985年 考古展示室改装。  
 1986年 須坂藩詰所一部を館外に展示する。考古室一部改装、本郷大塚古墳遺物全部展示  
 1987年 考古室内冷房設置、養蚕・製糸室展示改装  
 1988年 須坂藩関係室展示改装  
 1995年 1階展示室及び玄関改修  
 2003年 考古室内冷房更新  
 2004年 館内トイレ修繕、ステンドグラス保護工事  
 2010年 金属資料展示ケース空調設備修繕  
 2012年 ふれあい館「まゆぐら」2階に須坂市立博物館「まゆぐら分館」開館  
 博物館収蔵品デジタルアーカイブ事業はじまる。  
 2017年 須坂市立博物館基本計画策定委員会設置（委員数15人）  
 須坂市立博物館基本計画策定委員会開催（2回）  
 2018年 長期休館（1月15日から）  
 登録博物館の抹消（1月18日付）  
 須坂市立博物館基本計画策定委員会開催（8回）（10月から委員数16人）  
 須坂市立博物館基本計画策定（12月）  
 2019年 市立博物館大規模改修等工事設計業務委託

- 2020年 市立博物館大規模改修等工事  
市立博物館大規模改修等工事監理業務委託
- 2021年 笠鉾会館ドリームホールを須坂市立博物館の分館とする（4月1日付）。  
市立博物館（本館）及び笠鉾会館（分館）をリニューアルオープン（7月17日）
- 2022年 笠鉾会館ドリームホール映像システム等改修工事(まちの元気創出事業)

## 施設

### 須坂市立博物館（本館）

- 敷地面積 1,195㎡
- 構造 本館 補強コンクリートブロック造2階建  
別館 鉄骨造2階建
- 延床面積 689.02㎡
- 主要施設 ガイダンスルーム、自然展示室、考古展示室、エントランス、企画展示室（多目的ホール）、ワークラボ、収蔵庫、倉庫、事務室、エレベーター

### 笠鉾会館ドリームホール（分館）

- 敷地面積 860.30㎡
- 構造 鉄筋コンクリート造3階建
- 延床面積 1213.32㎡
- 主要施設 展示ホール、展示室、エントランス、企画展示室、収蔵庫、倉庫、事務室、エレベーター

## 所蔵資料

- 美術資料 4,367点 考古資料 1,160点 民俗資料 671点 歴史資料 359点  
教育資料外 752点

## 目標

「須坂市文化芸術振興ビジョン」(2011年3月策定)及び「須坂市立博物館基本計画」(2018年12月策定)に基づき、「多様な文化を学び育て、交流する創造的なまちづくり」「市民の学び、文化・芸術の創造・発展するまちづくりの礎として」「機能分散型総合博物館」「まるごと博物館」構想を具現化するため収集・保管・研究・展示し、市民の皆さんと共創で事業を進め、市民の身近な博物館となるよう活動する。

## 事業

- 常設展の資料を充実し、特別展・講演会・講座を開催し、学習活動をきめ細かく支援する。
- 収蔵環境を整備する。

最近の事業

年度	特別展示活動	博物館講座
2014	<p>市制施行 60 周年記念特集展示「市民が築いた博物館－寄贈資料が語る須坂のあゆみ－」</p> <p>特別展「能楽と<sup>おもて</sup>面－悠久の能文化・伝統を後世へ－」</p> <p>館外企画展示「第 45 回須坂きのこ展」</p> <p>新春特別企画「須坂藩主 新年の書き初め展」</p> <p>北陸新幹線長野～金沢間開業前記念展示「吉原澄悦 切り絵『信濃の街道』」</p> <p>特集展示「今よみがえる江戸の桜<sup>じやくふ</sup> 叢譜と須坂藩ゆかりのお雛様、印籠・根付」</p>	<p>臥竜山たんけん「臥竜公園ウォークラリー」他 全 10 回</p> <p>現地学習「歩いて見よう！天然記念物の桜ガイドツアー」</p> <p>歴史講座 講演会『関ヶ原の戦いの裏舞台－黒田官兵衛と長政－』</p> <p>特集展 関連企画 蓄音機音楽会&amp;思い出トーク「須坂小唄 あの頃の響き」</p> <p>特集展 夏休み特別ワークショップ「粉からうどんを作ってみよう！」</p> <p>第 3 回臥竜公園フェスティバル内企画「懐かしの街頭紙芝居 in 臥竜公園」「思い出トーク 塩崎源一郎さんと私」</p> <p>特別展 講座「能面のお話と実演」</p> <p>特別展 講座「子どものための能楽講座」</p> <p>特別展 関連企画「謡曲・北信流に関する講演会&amp;仕舞上演」</p> <p>特別展 関連企画「酒宴席開催と中締め北信流体験会」</p> <p>企画展 講演会『きのこ中毒の発生及び野生きのこの鑑別上の注意』</p> <p>館外講座「高甫を知ろう」</p> <p>館外講座「こども発掘たんけん教室」</p> <p>館外講座「八丁鎧塚まつり特別ガイド養成講座」</p> <p>展示資料活用事業「第 5 回八丁鎧塚まつり」</p> <p>共催講座「歴史文化講座」全 4 回</p> <p>特集展 関連企画『叢譜』をのこした若き藩主のドラマ 紙芝居『須坂のとのさま物語』三部作口演 全 2 回</p> <p>特集展 解説「掌上の芸術 根付～匠の技を大解剖!!」</p>
2015	<p>須坂藩開藩 400 年・吉向焼須坂開窯 170 年記念特別展「吉向焼展 ふるさとに息づく江戸期の雅陶～吉向行阿の置きみやげ～」</p> <p>館外企画展示「第 46 回須坂きのこ展」</p> <p>開館 50 周年記念特集展「春を愛でる雛と桜 ～須坂藩ゆかりの雛道具と桜<sup>じやくふ</sup> 叢譜』～」</p>	<p>臥竜山たんけん「臥竜公園ウォークラリー」他 全 9 回</p> <p>現地学習「すざか桜ガイドツアー」</p> <p>叢譜の杜桜まつり内企画「叢譜の杜と叢譜」講演会・「直虎と堀家ゆかりの館巡りガイドツアー」・「昔懐かしの街頭紙芝居の口演」</p> <p>第 4 回臥竜公園フェスティバル内企画「我龍神スザカイザーと博物館たんけん」</p> <p>特別展 関連企画「講演会&amp;窯跡見学会」</p> <p>特別展 関連企画「石州流交流茶会」</p> <p>特別展 関連企画「石州流お茶席」</p>

		<p>特別展 展示解説「ギャラリートーク」</p> <p>館外企画展示 講演会『きのこ中毒の防止について』・『毒きのこについて』</p> <p>館外講座「高甫を知ろう」</p> <p>館外講座「八丁鎧塚まつり古墳ガイドポイント講座」</p> <p>展示資料活用事業「第6回八丁鎧塚まつり」</p> <p>共催講座「歴史文化講座」全5回</p> <p>特集展 関連企画 紙芝居口演「須坂のとのさま物語」全2回</p> <p>特集展 関連企画「春をうたう邦楽コンサート」</p> <p>特集展 展示解説「ギャラリートーク」</p>
2016	<p>NHK大河ドラマ関連企画スポット展示「上杉景勝書状」</p> <p>開館50周年記念特集展「印籠・根付～ニッポンが世界に誇るものづくりのルーツ～」</p> <p>館外企画展示「第47回須坂きのこ展」</p> <p>堀直虎没後150年祭プレ事業・開館50周年記念特別展「北村方義～堀直虎の側近として活躍した偉大な須坂藩士の足跡～」</p> <p>堀直虎没後150年記念事業特集展「花は盛りに～直虎 桜図譜『姦譜』と須坂藩主ゆかりの雑道具」</p>	<p>臥竜山たんけん「臥竜公園ウォークラリー」他 全7回</p> <p>文化財保存活用倉庫蔵開き（大型製糸機械等公開）</p> <p>現地学習「須坂市指定天然記念物の桜ガイドツアー」</p> <p>姦譜の杜桜まつり内企画「昔懐かしの街頭紙芝居の口演」</p> <p>特集展 関連企画「根付スポット解説」</p> <p>特集展 展示解説「ギャラリートーク」</p> <p>館外企画展示 学習会「きのこ現地学習会」</p> <p>館外企画展示 講演会『きのこ中毒の防止について』『野生きのこについて』</p> <p>館外講座「八丁鎧塚ガイドポイント講座」</p> <p>展示資料活用事業「第7回八丁鎧塚まつり」</p> <p>特別展 講演会『北村方義の生きた時代と須坂藩』</p> <p>特別展 講演会『亀田流の書と北村方義』</p> <p>特別展 展示解説「ギャラリートーク」</p> <p>共催講座「歴史文化講座」全6回</p> <p>特集展 関連企画「春をうたう邦楽コンサート」</p> <p>特集展 関連企画 紙芝居口演「須坂のとのさま物語 堀直虎」</p> <p>特集展 展示解説「ギャラリートーク」</p>

2017	<p>テーマ展示「博物館的 美術・デザインを楽しむ」</p> <p>テーマ展示「古代須坂びとの暮らし～須坂園芸高等学校発掘速報展～」</p> <p>堀直虎没後 150 年記念事業特別展「須坂堀家 14 代」</p> <p>館外企画展示「第 48 回須坂きのこ展」</p>	<p>臥竜山たんけん「臥竜公園ウォークラリー」他 全 6 回</p> <p>文化財保存活用倉庫蔵開き（大型製糸機械等公開）</p> <p>共催講座「歴史文化講座」全 6 回</p> <p>テーマ展示 展示解説「ギャラリートーク」</p> <p>特集展 展示解説「ギャラリートーク」</p> <p>堀直虎没後 150 年記念事業 紙芝居口演</p> <p>堀直虎没後 150 年記念事業 創作音楽上演</p> <p>堀直虎没後 150 年記念事業 歴史文化講演会 I</p> <p>堀直虎没後 150 年記念事業 歴史文化講演会 II</p> <p>館外企画展示 学習会「きのこ現地学習会」</p> <p>館外企画展示 講演会『きのこ中毒の防止について』『野生きのこについて』</p> <p>館外講座「八丁鎧塚ガイドポイント講座」</p> <p>展示資料活用事業「第 8 回八丁鎧塚まつり」</p>
2018	<p>堀直虎没後 150 周年・明治 150 年記念展示（館外企画展）「幕末・明治期の須坂」</p> <p>館外企画展「第 49 回須坂きのこ展」</p>	<p>臥竜山たんけん「臥竜公園ウォークラリー」他 全 7 回</p> <p>文化財保存活用倉庫大型製糸機械等公開</p> <p>共催講座「歴史文化講座」</p> <p>記念展示 展示解説「ギャラリートーク」</p> <p>堀直虎没後 150 周年・明治 150 年記念事業 紙芝居口演・創作音楽上演</p> <p>堀直虎没後 150 周年・明治 150 年記念事業 歴史文化講演会</p> <p>館外企画展示 講演会『きのこ中毒の防止について』『野生きのこについて』</p> <p>館外講座「八丁鎧塚ガイドポイント講座」</p> <p>展示資料活用事業「第 9 回八丁鎧塚まつり」</p>
2019	<p>館外企画展「能面多種多様～豊かな面（おもて）の表情を見る～」</p> <p>館外企画展「第 50 回記念須坂きのこ展」</p>	<p>臥竜山たんけん「臥竜公園ウォークラリー」他 全 8 回</p> <p>文化財保存活用倉庫大型製糸機械等公開</p> <p>能面展 展示解説「ギャラリートーク」</p> <p>紙芝居口演および語りと箏・尺八による堀直虎の生涯上演</p> <p>館外企画展示 学習会「きのこ現地学習会」</p> <p>館外企画展示 講演会『きのこのはなし』</p>
2020		<p>臥竜山たんけん「臥竜公園ウォークラリー」</p>

2021	<p>【本館】 記念特別展「土器に込められた祈り～微隆起線文土器から墨書土器まで～」 企画展「臥竜公園の軌跡」 企画展「鉄道ノスタルジー」</p> <p>【分館】 記念企画展「須坂藩窯吉向焼―須坂に招かれた吉向行阿という陶工―」 企画展「郷土の文人と画家たち」 企画展「堀家ゆかりの雛飾り―桃の節句に寄せて―」</p>	臥竜山たんけん『「夜明けを感じる」自然観察会』他 全3回
2022	<p>【本館】 企画展「須坂の災害史～立ち向かう須坂の人々～」</p> <p>【分館】 特集展示「吉向行阿の残したもの」 特別展示「龜田家四代の儒学と信州須坂」 企画展「いきものと暮らし」 特集展示「須坂藩の雑道具」</p>	<p>臥竜山たんけん『「夜明けを感じる」自然かんさつ会』他 全10回 臥竜公園ガイドツアー 全2回 企画展 展示解説「ギャラリートーク」、現地見学会 特集展示 展示解説「ギャラリートーク」 ワークショップ おやこれきし探求 全5回 高山蝶ベニヒカゲ観察会 館外企画展示 「きのご鑑別会」 館外企画展示 「きのご現地学習会」 『臥竜公園の活性化にむけた「臥竜公園アーカイブ事業」』映像制作「須田城址」「満州珠山上高井郷」 かさえもんぬりえコンテスト 小林創映画ポスターコレクション展示 連携事業 講演「龜田家四代の儒学と信州須坂」 連携事業 『「須坂まるごと体験 謎解き FUN ロゲイニング」～蔵の町 須坂の文化を調査せよ～』 連携事業 スタンプラリー『謎解き宝探しゲーム』</p>

## 6 学校体育施設開放使用状況

(2022年度延べ使用日数・回数・人数)

学校名	体 育 館			運 動 場		
	①開放日数	②使用日数	③使用者数	①開放日数	②使用日数	③使用者数
須坂小	0	0	0	266	111	4,808
小山小	324	278	4,955			
森上小	334	267	9,201	272	18	225
日滝小	311	234	6,411	266	60	1,695
豊洲小	309	70	1,128	272	5	38
日野小	283	209	5,337	259	12	279
井上小	323	231	3,489	249	54	1,660

高甫小	300	216	3,519	268	9	177
旭ヶ丘小	309	243	4,281	271	45	1,371
仁礼小	313	111	2,702	249	11	152
豊丘小	318	66	626	272	0	0
常盤中	344 (346)	325 (63)	2,933 (515)	272	64	2,670
相森中	344 (337)	311 (199)	4,967 (4,290)	270	0	0
墨坂中	315 (318)	208 (148)	3,544 (1,900)	168	16	257
東 中	331 (337)	182 (273)	4,072 (2,805)	229	2	43
合 計	5,796	3,634	66,675	3,583	407	13,375

※中学校の（ ）は、武道場の使用状況

# Ⅶ 生涯学習推進課

## 1 概要

### 位置

- 須坂市生涯学習センター 須坂市大字須坂747番地イ
- 須坂市中央地域公民館 須坂市大字須坂747番地イ（生涯学習センター内）
- 南部地域公民館 須坂市臥竜二丁目4番2号
- 日滝地域公民館 須坂市大字日滝897番地4
- 豊洲地域公民館 須坂市大字小島402番地1
- 旭ヶ丘ふれあいプラザ 須坂市旭ヶ丘7番地55
- 日野地域公民館 須坂市大字塩川168番地1
- 井上地域公民館 須坂市大字幸高274番地3
- 高甫地域公民館 須坂市大字八町1918番地
- 仁礼コミュニティセンター 須坂市大字仁礼7番地16
- 豊丘地域公民館 須坂市大字豊丘1074番地1

### 沿革

- 1946年 6回にわたり公民館設立研究会開催
- 1947年 役場内に須坂町公民館創設（3月1日）
- 1947年 公民館開館式挙行（6月17日）
- 1949年 庁舎を須坂町社会会館に移転（4月1日）
- 1949年 公民館運営審議会を設置
- 1950年 25町に分館設置・館報第1号発行
- 1954年 豊洲・日野支館設置
- 1955年 井上・高甫支館設置
- 1957年 青年学級開設・市民歌公募発表
- 1958年 結婚改善委員会発足・部落解放推進協議会設置
- 1964年 支館廃止・分館主事設置・家庭教育学級開設
- 1965年 庁舎を旧市役所分室に移転
- 1966年 旧庁舎を改造移転・料理実習室新築
- 1968年 成人講座開設
- 1969年 青年講座・青年団体連絡会創設・同和教育主事設置
- 1971年 優良公民館文部大臣表彰受賞
- 1972年 公害、部落問題で成人講座、庁舎建設審議開始
- 1974年 公民館増改築工事着工
- 1975年 公民館増改築工事竣工
- 1977年 東・井上・旭ヶ丘に地域公民館設置
- 1979年 南部地域公民館設置
- 1980年 豊洲地域公民館設置
- 1981年 日滝地域公民館設置

- 1982年 高甫地域公民館設置
- 1984年 井上地域公民館移転新築
- 1985年 東地域公民館豊丘地区館設置
- 1990年 公民館北側玄関口エレベーター設置
- 1991年 東連絡所廃止に伴い全館東地域公民館となる  
須坂市民学園開講
- 1993年 東地域公民館を仁礼地域公民館に名称変更  
豊丘地区館を地域公民館に昇格  
旧園里学校の維持管理  
仁礼地域公民館（須高農協仁礼支所指導販売課事務所）へ移転  
旧消防署が公民館西館となる
- 1994年 優良公民館文部大臣表彰受賞
- 1997年 仁礼地域公民館を仁礼コミュニティセンターに改名移転新築（老人福祉センターくつろぎ荘と合築）
- 1998年 こども21すざか未来大学開講
- 1999年 プロジェクトS（須坂を舞台にしたドラマづくり講座）開講
- 2001年 優良公民館文部科学大臣表彰受賞  
旭ヶ丘地域公民館を旭ヶ丘ふれあいプラザに変更
- 2002年 プロジェクトS制作ビデオドラマ「家族」完成  
公民館外壁塗装等工事
- 2003年 公民館西館屋根、外壁塗装等工事
- 2004年 公民館1階男子トイレ・身体障害者用トイレ改修工事
- 2005年 高甫地域公民館 非常階段塗装・手摺補強工事
- 2006年 「総合的・地域づくりの拠点としての公民館のあり方について」公民館運営審議会へ諮問し、答申を受ける  
地域づくり須坂未来塾開講  
公民館石綿管敷設替工事、公民館火災報知機配線工事
- 2007年 公民館（発足）60周年記念事業  
公民館耐震補強工事  
運営審議会へ公民館及び分館の名称に係る調査研究を依頼し、報告を受ける
- 2008年 須坂市公民館の名称を須坂市中央公民館に変更  
南部地域公民館耐震補強工事
- 2009年 共創のまちづくり実現に向けた取り組みの一環として中央公民館は市長部局へ移管し、事務を補助執行させる  
須坂市旧上高井郡役所の所管が生涯学習課から中央公民館に移管  
須坂市文化芸術協会との連携による「文化芸術講座」開講
- 2012年 農村環境改善センターを日野地域公民館とし所管する  
豊洲地域公民館耐震補強改修工事  
日野地域公民館耐震補強等工事
- 2013年 旭ヶ丘ふれあいプラザの所管が高齢者福祉課から中央公民館に移管

2014年	トイレ改修工事：井上地域公民館・高甫地域公民館・日野地域公民館別館
2015年	建築主体工事：日滝地域公民館・豊丘地域公民館
2016年	太陽光発電設備設置工事：日滝地域公民館・豊丘地域公民館 中央公民館トイレ改修工事
2017年	中央公民館トイレ改修工事
2018年	所管していたすぎか女性未来館が廃止
2019年	南部地域公民館・臥竜山公会堂 トイレ改修工事
2020年	中央公民館を生涯学習推進課とし、生涯学習部門、須坂市社会教育委員、公益信託駒澤嘉 須坂生涯学習振興基金にかかる事務を生涯学習スポーツ課から生涯学習推進課に移管 施設名称を中央公民館から生涯学習センターに改称し、中央地域公民館を新たに設置 生涯学習センターエレベーター改修工事 旭ヶ丘ふれあいプラザトイレ改修工事 各地域公民館及び生涯学習センターにWi-Fiを設置
2021年	生涯学習センター防水等改修工事
2022年	成人式から二十歳を祝う会に変更

## 建 物

○生涯学習センター	敷地面積	3,095.38㎡			
	1階	2階	3階	計	
本館	715.05㎡	889.93㎡	860.77㎡	2,465.75㎡	
団体事務室	79.33㎡			79.33㎡	
西館	426.13㎡	386.35㎡	23.5㎡	835.98㎡	
計	1,220.51㎡	1,276.28㎡	884.27㎡	3,381.06㎡	
○南部地域公民館・臥竜山公会堂	敷地面積	1,335.54㎡			
1階	276.21㎡	2階 617.87㎡	3階 339.79㎡	計 1,233.87㎡	
臥竜山公会堂	699.03㎡				
○日滝地域公民館	敷地面積	1,542.16㎡			
1階	520.72㎡	計 520.72㎡			
○豊洲地域公民館	敷地面積	842.00㎡			
1階	229.80㎡	2階 209.60㎡	計 439.40㎡		
○旭ヶ丘ふれあいプラザ	敷地面積	1,847.1㎡			
1階	520.00㎡	計 520.00㎡			
○日野地域公民館	敷地面積	1,311.0㎡			
本館 1階	610.04㎡	2階 228.71㎡	計 838.75㎡		
別館 1階	292.41㎡				
○井上地域公民館	敷地面積	1,191.39㎡			
1階	246.33㎡	2階 243.09㎡	計 489.42㎡		
○高甫地域公民館	敷地面積	1,012.19㎡			
1階	226.35㎡	2階 223.11㎡	計 449.46㎡		
○仁礼コミュニティセンター（老人福祉センターくつろぎ荘と合築）					

敷地面積 9,249.00㎡

コミュニティセンター分 368.58㎡ 共用分 830.02㎡

○豊丘地域公民館 敷地面積 1,114.66㎡

1階 408.75㎡ 計 408.75㎡

○旧上高井郡役所 敷地面積 3742.15㎡

1階 411.5㎡ 2階 348.7㎡ 計 760.2㎡

## 機構・組織

生涯学習推進課長  ※公民館運営審議会 (17人)	管理 係	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯学習施設及び公民館施設の管理及び使用に関すること</li> <li>・生涯学習施設及び社会教育施設の設置及び廃止に関すること</li> <li>・社会教育委員に関すること</li> <li>・公民館運営審議会に関すること</li> <li>・関係機関・関係団体との連携及び調整に関すること</li> <li>・生涯学習センターに関すること</li> <li>・臥竜山公会堂に関すること</li> <li>・旧園里学校の公開に関すること</li> <li>・旧上高井郡役所との連絡調整に関すること</li> <li>・課の庶務に関すること</li> </ul>
	学習 推進 係	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯学習の企画・推進及び総合調整に関すること</li> <li>・生涯学習によるまちづくりに関すること</li> <li>・生涯学習の啓発及び講座開設に関すること</li> <li>・生涯学習の情報の収集及び提供に関すること</li> <li>・生涯学習の相談に関すること</li> <li>・生涯学習振興基金に関すること</li> <li>・公民館との連絡調整に関すること</li> <li>・その他生涯学習に関すること</li> </ul>
		地域公民館 10館
公民分館長会	各町公民分館 (12ブロック 69公民分館) (公民館等が協力及び援助を行う公民館類似組織)	

## 2 生涯学習の推進

### (1) 生涯学習、公民館講座の実施

- ① 市民一人ひとりの生きがいの充実と郷土に誇りと愛着をもってまちづくりをすすめるため、ふるさと須坂を学習材とし体験的・実践的に学ぶ「生涯学習須坂学舎」を開講。
- ② 自ら求め、実践していく場として、学園生相互の「出あい・ふれあい・学びあい」を中心とし、身近な須坂市を語る学習を行う「須坂市民学園」を開講。
- ③ 市民に須坂市の自然・歴史・文化などの素晴らしさを再発見していただくため、市内見学「まなび一号」の運行及び「まなび一隊」（ふるさと須坂お宝発見コース）を実施。

- ④ 生涯学習によるまちづくりの推進に寄与するため、「生涯学習まちづくり出前講座」の充実と活用を推進。
  - ⑤ 市内10か所の地域公民館主催の各種講座等を実施。
- (2) 生涯学習指導者の養成及び研修
- 公益信託駒澤嘉須坂生涯学習振興基金の運用を受け、社会通信教育「生涯学習支援実践講座 生涯学習コーディネーター新支援技法研修」の受講者を支援する。また、須坂市の生涯学習活動の推進役である生涯学習推進員の意識と資質向上を図る。
- (3) 生涯学習推進期間の啓発
- 生涯学習に参加する市民の充実した学習と生涯学習のまちづくりを推進するため、イベントや講座が多く開催される9月～11月を「生涯学習推進期間」としポスター、公民館だより等により周知し啓発した。
- (4) 生涯学習まちづくり市内推進委員会
- 「生涯学習まちづくり出前講座」「まなび一ず情報」の内容の見直し等、生涯学習の取り組みのため生涯学習まちづくり市内推進委員会を組織した。

### 3 公民分館活動支援

- (1) 公民分館長会総会、役員会
- (2) 公民分館活動支援
  - ① 各町公民分館活動に対し交付金を交付する。
  - ② 公民分館役員研修会(公民分館報編集等)

### 4 人権教育

- (1) 町別人権問題学習会の実施のほか、コロナ禍の影響により書面による学習教材を作成して、全戸配布・回覧の方法により学習を深める。
- (2) 各種学級に学習会を取り入れ理解を深める。

### 5 地域づくり事業

- (1) 公民館研究集会の開催

地域づくりの拠点である公民館で活動する住民等が、地域で抱える課題について、皆で考え話し合い、今後の活動にいかすため開催する。

- (2) 地域づくり推進委員会を設置し、地域公民館にて団体の活動支援を行う

### 6 二十歳を祝う会

21世紀を担う青年たちが、大人社会の一員として、二十歳になったことを自覚し、自ら生き抜こうとするきっかけの場として、市民こぞって祝い励ますため開催する。

### 7 社会教育委員関係

- (1) 社会教育委員 8人 (任期 2021年6月1日～2023年5月31日)
- (2) 社会教育委員会議の開催
- (3) 総会・研究大会等へ参加 (コロナ禍の影響により、書面開催、リモートによる参加)

## 8 広報活動

- (1) 「まなび一歩情報」「公民館だよりすぎか」を発行
- (2) 各地域公民館にて「地域公民館だより」を発行
- (3) ブログ、フェイスブック、ツイッターの活用
- (4) (株) Goolight、須坂新聞、信濃毎日新聞等メディアの活用（随時）

## 9 2022年度使用状況

	回 数	人 数
生涯学習センター	3,595回	33,807人
南部地域公民館	565	5,925
日滝地域公民館	615	10,747
豊洲地域公民館	264	2,274
旭ヶ丘ふれあいプラザ	1,126	11,459
日野地域公民館	1,568	16,429
井上地域公民館	606	6,800
高甫地域公民館	556	4,620
仁礼コミュニティセンター	518	5,159
豊丘地域公民館	251	2,432
臥竜山公会堂	17	667
旧上高井郡役所	1,180	13,413
計	10,861	113,732

# Ⅷ 人権同和教育課

## 1 人権教育推進計画（抜粋）

### 第1 はじめに

人権教育についての国際的な取組が進んでいます。国連は、「人権教育のための国連10年」(1995～2004年)を実施し、日本においても国内行動計画が作成され、その取組が行われてきました。さらに、国連総会で全世界規模での人権教育の推進を徹底させるための「人権教育のための世界計画」(2004年～)が定められました。人権という普遍的な文化を構築するための人権教育の推進は、国際社会が協力して取り組むべき基本的課題となっています。

国内においては、平成12(2000)年に「人権教育及び人権啓発の推進に関する法律」が公布され、国や地方公共団体の責務が明示されました。この法律に基づき、人権教育・啓発を総合的かつ計画的に推進するため、平成14(2002)年に「人権教育・啓発に関する基本計画」が閣議決定されました。

文部科学省は、学校教育における人権教育推進のために、平成15(2003)年に「人権教育・啓発に関する基本計画」に基づく調査研究組織として「人権教育の指導方法等に関する調査研究会議」を設置し、第一次から第三次にわたる[とりまとめ]を公表しました。

須坂市においては、同和教育を学校教育・社会教育の中に位置付けて推進してきましたが、平成12(2000)年に「部落差別撤廃・人権擁護に関する総合計画」を、平成13(2001)年には国際的な動向を受けて「人権教育のための国連10年須坂市行動計画」を策定し、それまでの同和教育の取組をふまえた人権教育の推進を目指しました。

平成26(2014)年3月には、「須坂市部落差別をはじめあらゆる差別撤廃・人権擁護審議会答申」(平成25年)を受け、「部落差別撤廃・人権擁護に関する総合計画」「人権教育のための国連10年須坂市行動計画」に替わるものとして、「須坂市人権政策推進基本方針」を策定し、市が進める人権政策の基本的な考え方や方向性を示しました。

平成28(2016)年3月には、須坂市教育委員会では、「人権教育・啓発に関する基本計画」、「人権教育の指導方法等の在り方について[第三次とりまとめ]」及び「須坂市人権政策推進基本方針」の基本的方向をふまえ、長野県教育委員会の人権教育推進プランを基盤に「須坂市人権教育推進計画」の見直しを行いました。

今後、この推進計画に沿って、須坂市の人権教育を進めてまいります。

### 第2 人権教育・啓発の方針

同和教育や啓発活動の中で積み上げられてきた成果とこれまでの手法への評価をふまえ、すべての人の基本的人権を尊重していくための人権教育・啓発として、発展的に再構築を図っていきます。

#### 1 学校における人権教育

一人ひとりの児童生徒が発達段階に応じて、人権尊重に関する知識や理解を深め、互いに人権を尊重する心、自分の大切さとともに他の人の大切さを認める「共に生きる心」を育てます。

幼稚園・保育園・認定こども園、小・中・支援学校、高等学校と連携し、一貫した人権教育を進め、児童生徒がいきいきと学べる学校、学級づくりを進めます。

教職員が豊かな人権感覚を持ち、人権尊重の理念に基づいた人権教育が実践できるよう指導力を高める取組を進めます。

#### 2 社会における人権教育・啓発

多様な人権課題について正しい理解と認識のもとに、具体的な行動や実践につながるよう、人権教育研修の機会と内容の充実に取り組みます。

区(自治会)、公民分館、人権教育推進員、人権擁護委員、人権のまちづくり推進会議、企業人権教育推進会議等と連携し、効果的に教育・啓発が行われるよう情報提供を行います。

地域や企業で共に活動する人権教育リーダーの育成と資質の向上を図る研修会を実施します。

#### (1) 家庭・地域

保護者が、子どもの人権感覚の育成に果たす役割の重要性を認識し、自らの人権感覚を高め、家庭教育の充実を図るよう支援します。

区や公民分館が行う町別人権問題学習会への講師派遣や情報・資料提供等の支援を行います。

地域における人権教育リーダーの育成のため、各地域との情報交換・共有の提供に努めます。

#### (2) 企業・職場

商工関係団体や経営者等に対し、企業内における人権教育の推進や人権教育指導者の育成を要請し、企業の主体的な取組を支援します。

企業経営者等に対し、就職希望者の基本的人権を尊重した公正な採用選考と、就職の機会均等が図られるよう、関係機関と連携して啓発を行います。

### 第3 人権教育の基本方針

人権について、国の「人権教育・啓発に関する基本計画」は、「人間の尊厳に基づいて各人が持っている固有の権利であり、社会を構成するすべての人々が個人としての生存と自由を確保し、社会において幸福な生活を営むために欠かすことのできない権利」と示し、人権が尊重される社会を築いていく主体となる人間を育てるために、次の3つの方針で人権教育を進めています。

- 1 人権尊重の意義及び様々な人権問題についての**理解と認識**を深めます。
- 2 自らの権利の行使に伴う責任を自覚して、互いに人権を尊重し合う「**共に生きる心**」を醸成します。
- 3 人権問題を自らの課題として解決し、人権を尊重する社会を築いていく**意欲と実践力**を高めます。

この3点は、文部科学省「人権教育の指導方法等の在り方について [第三次とりまとめ]」における学校人権教育の目標と目指すものは同じといえます。

## 2 沿 革

1958年7月1日	須坂市部落解放審議会条例を公布施行し、部落解放審議会及び部落解放推進協議会発足。この頃公民館の重点事業に同和教育が組みこまれ、小中学校でも自発的に取り込まれるようになった。
1961年	公民館が冊子「部落についての50の質問」を発行
1966年度 ～1968年度	同和対策モデル地区事業が取り入れられ同和対策事業が計画的に実施される基礎となった。
1969年5月	同和教育主事を公民館に配置
1970年	「須坂市同和対策事業長期計画」、昭和49年2月に「須坂市同和対策事業基本

	方針」及び「同和対策事業後期5ヵ年計画」、同年5月1日に「須坂市同和教育基本方針」を制定
1972年4月	「同和対策室」、昭和49年4月「同和教育係」が新設され、昭和49年10月それぞれ「同和対策課」「同和教育課」として発足
1974年5月	二睦解放子ども会発足
1974年8月	企業同和教育推進会議発足
1975年3月	「同和教育委員会」を設置 「須高小中学校同和教育指導計画（試案）」作成
1975年5月	本郷解放子ども会発足
1977年3月	「社会同和教育の手びき」作成
1977年4月	福島解放子ども会発足
1978年3月	冊子「れいめいー須坂市民のための同和教育ー」を発行、全戸配布
1979年3月	「れいめい」資料編作成
1981年12月	『須坂市を中心とした「資料による部落の歴史」（近世編）』作成
1982年4月	須坂市同和教育基本方針の一部改正
1983年1月	「同和教育指導計画（改訂版）」作成
1987年4月	須坂市同和教育基本方針を一部改正
1992年4月	須坂市同和教育基本方針を一部改正
1994年3月	「須坂市部落解放・人権尊重都市」宣言
1996年1月	須坂市部落差別をはじめあらゆる差別撤廃・人権擁護に関する条例を公布 施行須坂市部落解放審議会条例を廃止
1996年4月	須坂市同和教育基本方針を一部改正
1997年3月	「同和問題に関する市民意識調査報告書」作成 同和教育委員会を廃止
1997年4月	須坂市同和教育基本方針を一部改正
1998年9月	同和教育推進指導員12名委嘱
1999年6月	企業同和教育推進会議「企業が進める同和教育」発刊
1999年9月	同和教育推進指導員5名委嘱（全17名に）
2000年2月	「部落差別撤廃・人権擁護に関する総合計画」策定
2001年2月	「人権教育のための国連10年須坂市行動計画」策定
2001年4月	「同和教育課」を「人権同和教育課」に 「同和教育係」を「人権同和教育係」に 「同和対策課」を「人権同和政策課」に 「同和対策係」を「人権同和政策係」に名称変更 「同和教育推進指導員」を「人権同和教育推進指導員」に名称変更
2001年6月	「部落解放推進委員会」を「人権のまちづくり推進委員会」に名称変更
2002年3月	「人権同和教育指導計画」を改訂 解放子ども会同和教育推進教員配置廃止

2002年 4月	二睦・福島解放子ども会合同で開催 解放子ども会支援加配教員配置。 子ども会運営を保護者会で
2002年 5月	「企業同和教育推進会議」を「企業人権同和教育推進会議」に名称変更
2003年 4月	「解放子ども会」支援加配教員配置廃止
2006年 4月	「人権のまちづくり推進委員会」を「人権のまちづくり推進会議」に名称変更
2007年 1月	部落解放同盟須坂市協議会と共催し、「第1回人権を考える市民のつどい」を開催
2008年4月	二睦・福島解放子ども会休会
2009年4月	須坂市人権同和教育基本方針を一部改正
2011年3月	「人権同和教育指導計画」を改訂
2014年3月	「部落差別撤廃・人権擁護に関する総合計画」、「人権教育のための国連10年 須坂市行動計画」に替わるものとして、「人権政策推進基本方針」を策定
2014年4月	「人権同和教育推進指導員」を「人権教育推進員」に名称変更 須坂市人権教育基本方針を一部改正
2014年5月	「企業人権同和教育推進会議」を「企業人権教育推進会議」に名称変更
2016年3月	「須坂市人権教育基本方針」を廃止し、「須坂市人権教育推進計画」を策定
2017年4月	旭ヶ丘小学校が人権教育で文部科学省の指定を受ける（2年間）
2018年4月	人権同和政策課が「市民共創部」所属から「社会共創部」所属へ
2019年4月	本郷解放子ども会「高校生部会」再開
2020年12月	第56回長野県部落解放研究集会在須坂市文化会館メセナホールで開催
2022年4月	「人権同和政策課」と「男女共同参画課」が統合され「人権同和・男女共同参画課」に名称変更

### 3 具体的事業

#### 人権教育総務

事業名	事業の内容	実施時期
部落差別をはじめあらゆる差別撤廃・人権擁護審議会	人権教育の基本的事項について調査及び審議する。 委員15人	年間 (随時)
人権教育連絡会	人権教育担当者の連絡調整を図るため開催する。	年間 (随時)
人権教育強調月間	標語・ポスターの募集と活用 ・募集 小・中学生に標語・ポスターを、一般に標語を募集 ・展示 部落差別をはじめあらゆる差別をなくす市民大集会、人権を考える市民のつどいで展示 ・啓発用ポスター・標語短冊の作成	11月15日～ 12月14日

## 学校人権教育

事業名	事業の内容	実施時期
学校教職員の 人権教育研修	<p>人権尊重を基本にし、児童・生徒の発達段階に即して一貫した人権教育を進めるため、研修会等を開催する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・校長との懇談会</li> <li>・学校人権教育主任会</li> <li>・須坂市への新任教職員人権教育研修会</li> </ul>	<p>6月 5月・10月 8月</p>
学校人権教育 教材の配布	<p>児童・生徒の人権教育の質的向上を図るため、啓発事業として副読本『あけぼの』を学校へ補充配布する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校低学年用 ・小学校中学年用 ・小学校高学年用</li> <li>・中学生用</li> </ul>	<p>5月</p>
人権教育計画書等の 発行・活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人権同和教育指導計画(カリキュラム・22年度改訂配布)</li> <li>・人権教育計画書(年次計画)</li> <li>・人権教育啓発標語集の発行</li> </ul>	<p>(年間使用) 5月 12月</p>
人権教育学校活動費 の交付	<p>学校人権教育の均衡ある発展と内容の充実を図るため交付金を交付する。</p> <p>学校活動費</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校 65,000円(均等割) ・中学校 65,000円(均等割)</li> <li>・須坂支援学校 65,000円(均等割)</li> <li>・地区校 10,000円×4校 160,000円(教員割)</li> <li>(学校PTA人権教育推進校上積) 30,000円×1校</li> <li>中学校ブロック人権教育研修費 50,000円(均等割)</li> </ul>	<p>6月</p>
学校PTA 人権教育推進校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校人権教育の充実を図るため、学校及びPTAの人権教育の実践の研究を推進する。</li> </ul>	<p>年間</p>

## 社会人権教育

事業名	事業の内容	実施時期
部落解放子ども会等 運営委員会	<p>解放子ども会及び対象地域高校生学級等の運営について審議する。 委員7人</p>	<p>年1回</p>
人権教育促進事業	<p>部落解放にたくましく立ちあがる児童・生徒を育てるための学習活動を実施する。また、人権教育推進のため、地域住民を対象に、同和問題を柱とした人権に関する学習機会の提供と各種交流活動を実施する。</p>	<p>年間</p>
人権教育 リーダー研修会	<p>人権問題に対する指導者の養成を図るため、区長、公民分館長、市部課長を対象とする研修会を開催する。</p>	<p>4月</p>
人権のまちづくり推進 会議の活動支援	<p>人権のまちづくり推進会議の活動を支援し、構成団体での取り組みの強化充実を図る。</p>	<p>年間</p>

	人権教育強調月間にあわせ、部落差別をはじめあらゆる差別をなくす市民大集会を開催する。	11月
企業人権教育推進会議の活動支援	企業人権教育推進会議の活動を支援し、企業内での人権教育の推進を図る。	年間
人権教育啓発資料の発行	人間を大切にする明るい社会の実現をめざして、啓発資料を全市民対象に発行する。	1月

#### 4 都市宣言

### 須坂市部落解放・人権尊重都市宣言

(平成6年3月22日)  
宣 言

基本的人権が尊重され、自由で平等な社会の実現は、すべての人々の強い願いである。

しかしながら現実の社会生活においては、今なお、部落差別をはじめさまざまな差別が存在している。人権が侵害されることは、いかなる理由があっても許されることではない。

よって、市民一人ひとりが自らの人権意識を高め、すべての人々の人権を守り、差別のない明るく住みよい社会を築くため、ここに須坂市を「部落解放・人権尊重都市」とすることを宣言する。



# Ⅸ 歴代教育委員名簿

## 1 歴代教育委員

### (1) 旧法による委員

年	委員長	副委員長	委員	委員	議会選出委員	教育長
1952	11・1就 広田 豊治	11・1就 永井 正雄	11・1就 二ノ宮 一雄	11・1就 牧 武雄	11・1就 中島 義昭	11・1就 清水 虎治郎
1953	〃 2・10退	〃 2・10退	〃 2・10退	〃 2・10退	〃 2・10退	〃
1954	2・16就 永井 正雄	2・16就 二ノ宮 一雄	2・16就 広田 豊治	2・16就 松倉 専右工門	3・16就 東山 真一 2・10退	〃
1955	〃 9・30退	〃 9・30退	〃 9・30退	〃 9・30退	2・16就 大瀬 今太郎 9・30退	〃 9・30退
1956	新法へ移行	新法へ移行	新法へ移行	新法へ移行	新法へ移行	新法へ移行
S30・1・1以降 S31・9・30まで 上記のほかにも井上委員会選出委員 堀内 正 高甫委員会選出委員 松沢 令之助						

### (2) 新法による委員

1956	10・1就 広田 豊治	10・1就 松沢 令之助	10・1就 羽生田 薫	10・1就 神林 新治	10・1就 清水 虎治郎
1957			9・30満了 10・1再任 羽生田 薫		5・7退 5・8就 山岸 吉治
1958	1・31退 3・21就 青木 幹三 9・30満了 10・1就 秋田 実				
1959		9・30満了 10・1再任 松沢 令之助	1・22退 3・16就 永戸 朋納		
1960				9・30満了 10・1就 稲田 猶治	9・30満了
1961	6・4退 12・19就 牧 茂助		9・30満了 10・1再任 永戸 朋納		4・1就 竹前 友治郎
1962	9・30満了 10・1再任 牧 茂助			4・12退 6・20就 原 伊四郎	
1963		1・15退 10・1就 丸田 倭文雄			
1964				9・30満了 10・1就 城本 重男	

1965			<u>9・30満了</u> 10・2再任 永戸 朋納		<u>3・31満了</u> 4・19就 永田 保
1966	<u>9・30満了</u> 10・1再任 牧 茂助				
1967		<u>9・30満了</u> 10・1再任 丸田 倭文雄			<u>1・16退</u> 3・17就 藤沢 晋一
1968				<u>9・30満了</u> 10・1再任 城本 重男	
1969			<u>10・1満了</u> 10・2就 森山 貞治		<u>4・18満了</u> 6・21就 大久保 寿一
1970	<u>9・30満了</u> 10・1就 北村 功次				
1971		<u>9・30満了</u> 10・1就 林 秀皓			
1972				<u>9・30満了</u> 10・1就 青木 功	
1973	<u>5・11退</u> 6・11就 北村 善三郎		<u>10・1満了</u>		<u>6・20満了</u> 6・21再任 大久保 寿一
1974	<u>9・2退</u> 10・1就 花園 文治		4・1就 宮崎 裕司		
1975		<u>9・30満了</u> 10・1就 市川 さくの			
1976			<u>2・13退</u> 4・2就 北村 堯	<u>9・30満了</u> 10・1再任 青木 功	<u>1・23退</u> 6・11就 竹重 正生
1977					<u>6・20満了</u> 6・21再任 竹重 正生
1978	<u>9・30満了</u> 10・1再任 花園 文治		<u>3・31満了</u> 4・1再任 北村 堯		
1979		<u>9・30満了</u> 10・1就 関 幸五郎			
1980				<u>9・30満了</u> 10・1就 二ノ宮 信子	
1981		<u>8・25退</u> 10・1就 青木 信夫			<u>6・20満了</u> 6・21再任 竹重 正生
1982	<u>9・30満了</u> 10・1就 小坂 保司		<u>3・31満了</u> 4・1再任 北村 堯		
1983		<u>9・30満了</u> 10・1再任 青木 信夫			

1984				9・30満了 10・1就 広瀬 紀子	
1985					6・20満了 6・21就 板倉 信一郎
1986	9・30満了 10・1再任 小坂 保司		3・31満了 4・1就 岡部 義男		
1987		9・30満了 10・1就 北村 俊男			
1988				9・30満了 10・1就 町田 弘子	
1989					6・20満了 6・21就 小林 英之
1990	9・30満了 10・1就 上原 衛		3・31満了 4・1就 竹前 稀市		
1991		9・30満了 10・1再任 北村 俊男			
1992				9・30満了 10・1就 黒岩 照子	
1993					6・20満了 6・21就 野口 徹男
1994	9・30満了 10・1再任 上原 衛		3・31満了 4・1再任 竹前 稀市		
1995		9・30満了 10・1就任 坂口 光男			
1996				9・30満了 10・1就任 宮下 瑠美子	
1997	3・31退 4・1就 中島 將之				6・20満了 6・21就 大久保 俊弘
1998	9・30満了 10・1再任 中島 將之		3・31満了 4・1就任 宮本 経祥		
1999		9・30満了 10・1就任 坂口 光男			
2000				9・30満了 10・1就任 宮下 瑠美子	
2001		3・31退 4・1就任 田川 榮			6・20満了 6・21再任 大久保 俊弘
2002	9・30満了 10・1就任 西澤 一好		3・31満了 4・1再任 宮本 経祥	9・30退 10・1就任 川野 美知子	

2003		<u>9・30滿了</u> 10・1 就任 田川 榮			
2004				<u>9・30滿了</u> 10・1 再任 川野 美知子	
2005					<u>6・20滿了</u> 6・21就任 永井 和男
2006	<u>9・30滿了</u> 10・1 再任 西澤 一好		<u>3・31滿了</u> 4・1 就任 渡邊 宣裕		
2007		<u>9・30滿了</u> 10・1 就任 清水 美奈子			
2008				<u>9・30滿了</u> 10・1 就任 湯本 由美	
2009					<u>6・20滿了</u> 6・21再任 永井 和男
2010	<u>9・30滿了</u> 10・1 就任 業田 昭映		<u>3・31滿了</u> 4・1 再任 渡邊 宣裕		
2011		<u>9・30滿了</u> 10・1 再任 清水 美奈子			
2012				<u>9・30滿了</u> 10・1 就任 神戸 要子	
2013					<u>6・20滿了</u> 6・21再任 内藤 靖
2014	<u>9・30滿了</u> 10・1 就任 岡部 昭弘		<u>3・31滿了</u> 4・1 就任 小林 雅彦		
2015		<u>9・30滿了</u> 10・1 就任 丸山 浩恵			
2016				<u>9・30滿了</u> 10・1 再任 神戸 要子	
2017					<u>6・20滿了</u> 6・21就任 土屋 保男
2018	<u>9・30滿了</u> 10・1 就任 二ノ宮 邦彦		<u>3・31滿了</u> 4・1 再任 小林 雅彦		
2019		<u>9・30滿了</u> 10・1 就任 水上 智恵			
2020				<u>9・30滿了</u> 10・1 就任 山下 美知子	
2021			<u>3・31滿了</u> 4・1 再任 小林 雅彦		<u>6・20滿了</u> 6・21再任 土屋 保男
2022	<u>9・30滿了</u> 10・1 再任 二ノ宮 邦彦				

## 2 歴代委員長・職務代理・教育長

### (1) 旧法による

年	委員長	副委員長	教育長
1952	11・1就 広田 豊治	11・1就 永井 正雄	11・1就 清水 虎治郎
1953	広田 豊治	永井 正雄	清水 虎治郎
1954	2・10退 広田 豊治 3・31就 永井 正雄	2・10退 永井 正雄 3・31就 二ノ宮 一雄	清水 虎治郎
1955	3・8退 永井 正雄 3・12就 二ノ宮 一雄	3・8退 二ノ宮 一雄 3・12就 松倉 専右エ門	清水 虎治郎
1956	9・30退 二ノ宮 一雄	9・30退 松倉 専右エ門	9・30退 清水 虎治郎

### (2) 新法による

年	委員長	委員長職務代理	教育長
1956	10・1就 広田 豊治	10・1就 松沢 令之助	10・1就 清水 虎治郎
1957	広田 豊治	松沢 令之助	5・7退 清水 虎治郎 5・8就 山岸 吉治
1958	1・31退 広田 豊治 3・27就 松沢 令之助	3・27退 松沢 令之助 3・27就 神林 新治	山岸 吉治
1959	松沢 令之助	神林 新治	山岸 吉治
1960	松沢 令之助	9・30退 神林 新治 10・1就 永戸 朋納	9・30退 山岸 吉治
1961	松沢 令之助	永戸 朋納	4・1就 竹前 友治郎
1962	松沢 令之助	永戸 朋納	竹前 友治郎
1963	1・15退 松沢 令之助 7・9就 永戸 朋納	7・8退 永戸 朋納 7・9就 牧 茂助	竹前 友治郎
1964	永戸 朋納	牧 茂助	竹前 友治郎
1965	永戸 朋納	牧 茂助	3・31退 竹前 友治郎 4・1就 城本 重男
1966	永戸 朋納	牧 茂助	城本 重男
1967	永戸 朋納	牧 茂助	城本 重男
1968	永戸 朋納	牧 茂助	城本 重男
1969	9・30退 永戸 朋納 10・1就 牧 茂助	9・30退 牧 茂助 10・1就 丸田 倭文雄	城本 重男
1970	9・30退 牧 茂助 10・1就 丸田 倭文雄	9・30退 丸田 倭文雄 10・1就 大久保 寿一	城本 重男
1971	9・30退 丸田 倭文雄 10・1就 大久保 寿一	9・30退 大久保 寿一 10・1就 森山 貞治	城本 重男
1972	大久保 寿一	・退 森山 貞治 8・2就 北村 功次	8・1退 城本 重男 8・2就 森山 貞治

1973		大久保 寿一		5・11退 6・25就	北村 功次 林 秀皓	10・2退	森山 貞治
1974		大久保 寿一			林 秀皓	4・2就	宮崎 裕司
1975		大久保 寿一		9・30退 10・6就	林 秀皓 青木 功		宮崎 裕司
1976	1・23退 4・1就	大久保 寿一 青木 功		3・31退 4・1就	青木 功 花園 文治	2・13退 4・2就	宮崎 裕司 北村 堯
1977		青木 功			花園 文治		北村 堯
1978		青木 功			花園 文治		北村 堯
1979		青木 功			花園 文治		北村 堯
1980	9・30退 10・1就	青木 功 花園 文治		9・30退 10・1就	花園 文治 竹重 正生		北村 堯
1981		花園 文治			竹重 正生		北村 堯
1982	9・30退 10・1就	花園 文治 竹重 正生		9・30退 10・1就	竹重 正生 青木 信夫		北村 堯
1983		竹重 正生			青木 信夫		北村 堯
1984		竹重 正生			青木 信夫		北村 堯
1985	6・20退 6・25就	竹重 正生 青木 信夫		6・20退 6・25就	青木 信夫 小坂 保司		北村 堯
1986		青木 信夫			小坂 保司	3・31退 4・2就	北村 堯 岡部 義男
1987	9・30退 10・1就	青木 信夫 小坂 保司		9・30退 10・1就	小坂 保司 板倉 信一郎		岡部 義男
1988		小坂 保司			板倉 信一郎		岡部 義男
1989		小坂 保司		6・20退 6・21就	板倉 信一郎 小林 英之		岡部 義男
1990	9・30退 10・1就	小坂 保司 小林 英之		9・30退 10・1就	小林 英之 北村 俊男	3・31退 4・2就	岡部 義男 竹前 稀市
1991		小林 英之			北村 俊男		竹前 稀市
1992		小林 英之			北村 俊男		竹前 稀市
1993	6・20退 6・22就	小林 英之 北村 俊男		6・22退 6・22就	北村 俊男 上原 衛		竹前 稀市
1994		北村 俊男			上原 衛	4・1再任	竹前 稀市
1995	9・30退 10・3就	北村 俊男 上原 衛		10・3退 10・3就	上原 衛 黒岩 照子		竹前 稀市
1996		上原 衛		9・30退 10・1就	黒岩 照子 野口 徹男		竹前 稀市

1997	3・31退 4・1就 6・20退 6・25就	上原 衛 野口 徹男 野口 徹男 坂口 光男	3・31退 4・1就 6・25退 6・25就	野口 徹男 坂口 光男 坂口 光男 宮下 瑠美子	竹前 稀市
1998		坂口 光男		宮下 瑠美子	3・31退 4・1就 竹前 稀市 宮本 経祥
1999		坂口 光男		宮下 瑠美子	宮本 経祥
2000		坂口 光男	9・30退 10・1就	宮下 瑠美子 中島 將之	宮本 経祥
2001	3・31退 4・1就	坂口 光男 中島 將之	3・31退 4・1就	中島 將之 大久保 俊弘	宮本 経祥
2002	9・30退 10・1就	中島 將之 中島 將之 大久保 俊弘	9・30退 10・1就	大久保 俊弘 大久保 俊弘 田川 榮	4・1再任 宮本 経祥
2003		大久保 俊弘		田川 榮	宮本 経祥
2004		大久保 俊弘		田川 榮	宮本 経祥
2005	6.20退 6.21就	大久保 俊弘 田川 榮	6.20退 6.21就	田川 榮 西澤 一好	宮本 経祥
2006		田川 榮		西澤 一好	3・31退 4・1就 宮本 経祥 渡邊 宣裕
2007	9・30退 10・1就	田川 榮 西澤 一好	9・30退 10・1就	西澤 一好 川野 美知子	渡邊 宣裕
2008		西澤 一好	9・30退 10. 1就	川野 美知子 永井 和男	渡邊 宣裕
2009		西澤 一好		永井 和男	渡邊 宣裕
2010	9・30退 10・1就	西澤 一好 永井 和男	9・30退 10・1就	永井 和男 清水美奈子	4・1再任 渡邊 宣裕
2011		永井 和男		清水美奈子	渡邊 宣裕
2012		永井 和男		清水美奈子	渡邊 宣裕
2013	6・20退 6・21就	永井 和男 内藤 靖		清水美奈子	渡邊 宣裕
2014		内藤 靖		清水美奈子	3・31退 4・1就 渡邊 宣裕 小林 雅彦
2015		内藤 靖	9・30退 10・1就	清水美奈子 神戸 要子	小林 雅彦
2016		内藤 靖		神戸 要子	小林 雅彦
2017	6・20退 6・21就	内藤 靖 神戸 要子	6・20退 6・21就	神戸 要子 岡部 昭弘	小林 雅彦
2018	3・31退	神戸 要子	3・31退	岡部 昭弘	3・31退 小林 雅彦

(3) 新教育委員会制度による

年	教 育 長	教育長職務代理者
2018	4・1再任 小 林 雅 彦	4・2就 神 戸 要 子
2019	小 林 雅 彦	神 戸 要 子
2020	小 林 雅 彦	10・1就 二ノ宮 邦彦
2021	4・1再任 小 林 雅 彦	二ノ宮 邦彦
2022	小 林 雅 彦	10・1再任 二ノ宮 邦彦

---

2022年度

# 須坂市の教育

編集 須坂市教育委員会

発行 2023年10月

---